

# 「市民満足度調査」

## 集計・分析結果報告書

平成25年10月

千 曲 市

# 目次

## 1. 調査の概要

- 1 調査の目的
- 2 調査方法
- 3 調査表の配布及び回収結果
- 4 集計結果の取り扱いについて

## 2. 回答者の属性

- 1 性別
- 2 年齢
- 3 職業
- 4 居住区域
- 5 居住年数
- 6 住みやすさについて
- 7 今後の居留意向

## 3. 調査の結果

- 1 市政への関心
- 2 市政への満足度と重要度
- 3 市政への要望
- 4 市政に対する不満
- 5 合併から10年経過した千曲市について
- 6 「協働のまちづくり」について
- 7 「議会本会議」について

# 1. 調査の概要

---

---

## 1 調査の目的

平成 19 年 4 月に策定した「千曲市総合計画」に掲げた 32 項目の達成方針について、市民の皆さんがどの項目を重要と考えているのか、また、現状に対する各項目の満足度はどの程度かをお聴きし、今後の市政運営に役立てるため「市民満足度調査」を平成 20 年度より実施しています。

平成 21 年度より行政評価（施策評価）に、市民満足度調査の結果を絡めて評価しています。

## 2 調査方法

- (1) 調査対象 満 18 歳以上の市民
- (2) 標本数 2,000 人
- (3) 調査区域 千曲市全域
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送方式（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
- (6) 調査期日 平成 25 年 9 月 12 日～平成 25 年 9 月 30 日

## 3 調査票の配布及び回収結果

- (1) 調査票配布数 2,000 票
- (2) 有効回収数 600 票
- (3) 有効回収率 30.0%

### 前回（平成 24 年度）配布及び回収結果

- |            |         |
|------------|---------|
| (1) 調査票配布数 | 2,000 票 |
| (2) 有効回収数  | 520 票   |
| (3) 有効回収率  | 26.0%   |

## 4 集計結果の取り扱いについて

- (1) 各項目の集計結果は百分率で表示し、個々の項目はそれぞれ少数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、比率の合計が必ずしも 100%にならないことがある。
- (2) 「18、19 歳」の回答者数が極端に少ない為、集計結果が必ずしも目的に対して正しく反映されているとは限らない点もあるが、参考として表示するものとする。

## 2. 回答者の属性

### (1) 性別

性別では、「男性」が44.5%、「女性」が55.2%であった。

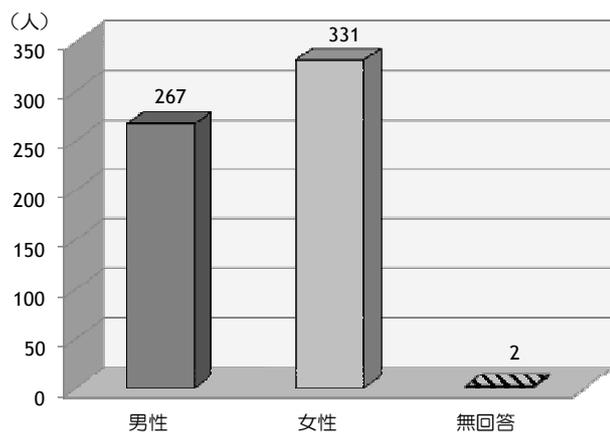
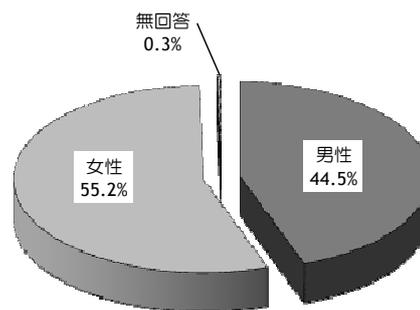


図 2-1-1 性別回答数



(n=600)

図 2-1-2 性別回答割合

### (2) 年齢

年齢別では、「60～69歳」が24.5%、「70歳以上」が18.8%、「50～59歳」が16.5%となっており、高年齢層が多く、60歳以上の回答者が4割以上を占めている。

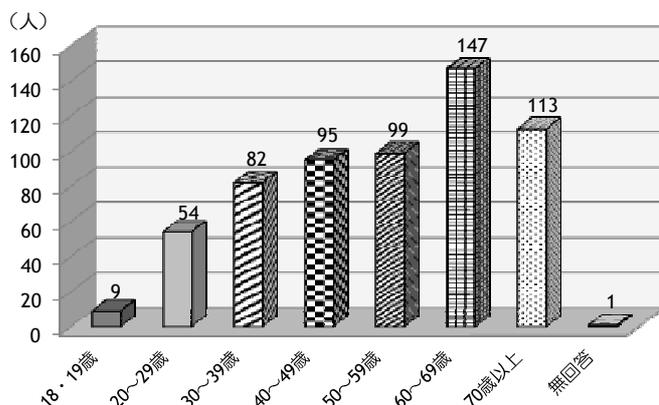
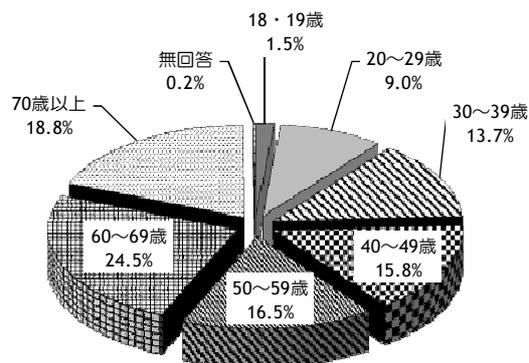


図 2-2-1 年齢別回答数



(n=600)

図 2-2-2 年齢別回答割合

性別による年齢の割合は、男性・女性とも「60～69歳」が最も多く、「20～29歳」及び「60～69歳」の男性・女性の割合に差がある。

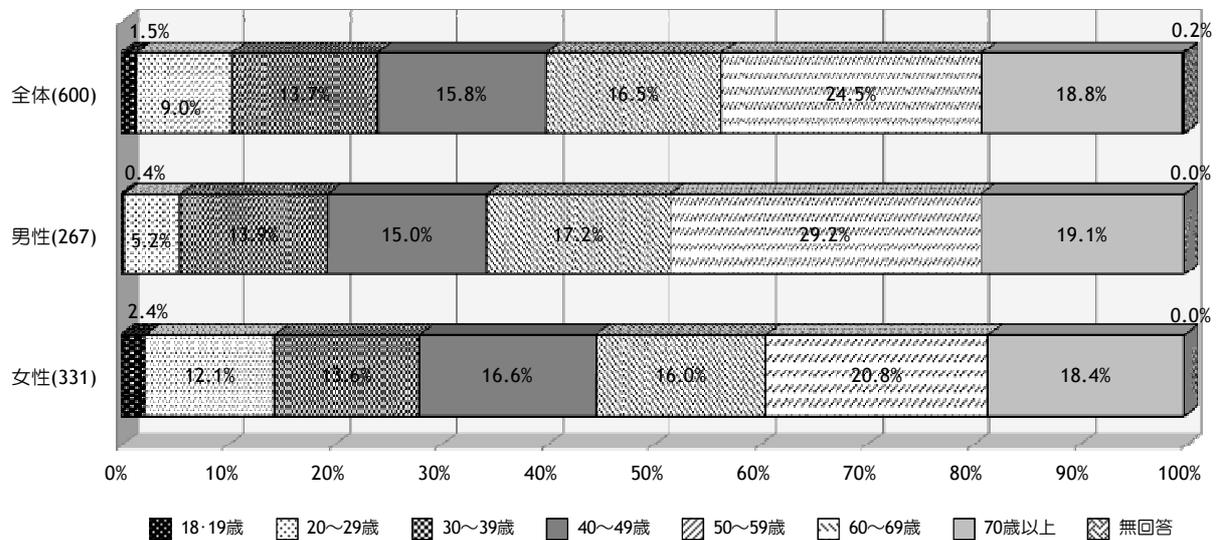


図 2-2-3 性別による年齢の回答割合

### (3) 職業

職業別では、「専業主婦・主夫、無職 (36.8%)」が最も多く、次いで「会社員 (27.7%)」、「自営業 (農工サービス業ほか) (7.7%)」となっている。

形態別では、(農林水産業)と(農工サービス業)を合わせた“自営業”は11.9%、「会社員」、「公務員」、「団体職員」を合わせた“勤め人”は34.2%、「専業主婦・主夫、無職」は36.8%となっている。

平成24年調査結果と比較すると、各職業ともほぼ同じ割合となっている。

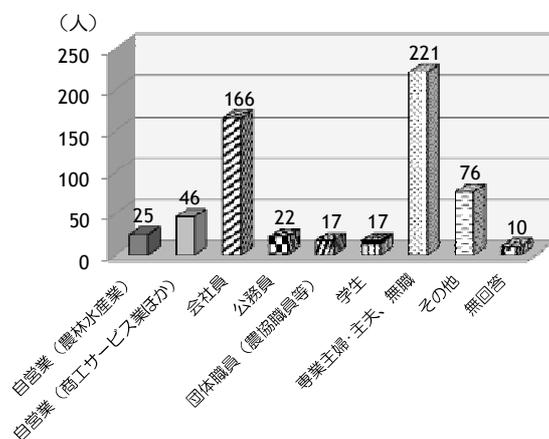


図 2-3-1 職業別回答数

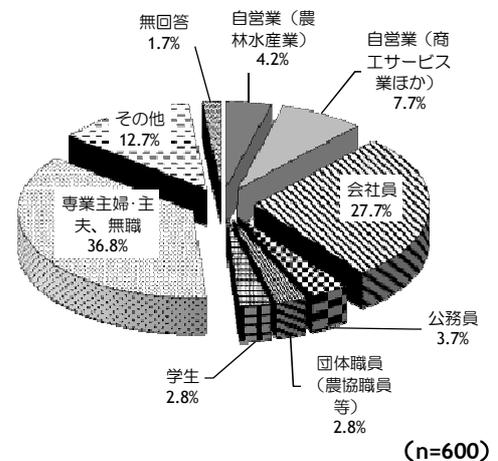


図 2-3-2 職業別回答割合

#### (4) 居住区域

居住区域別では、「埴生小学校区 (19.8%)」が最も多く、「更級小学校区 (3.8%)」が最も少ない。

しかし、埴生小学校区、更級小学校区を除く7小学校区の回答率の差はあまりみられない。

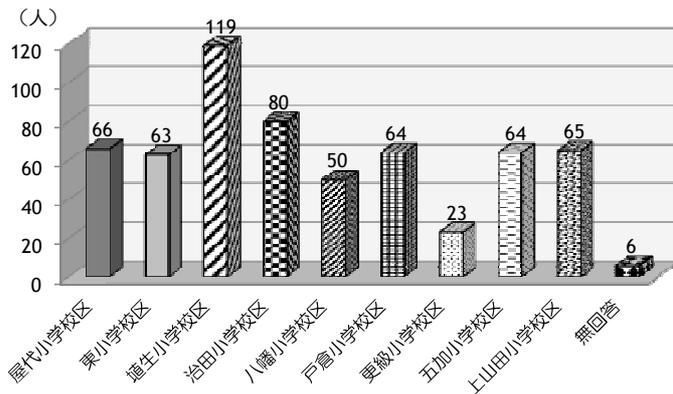


図 2-4-1 居住区域別回答数

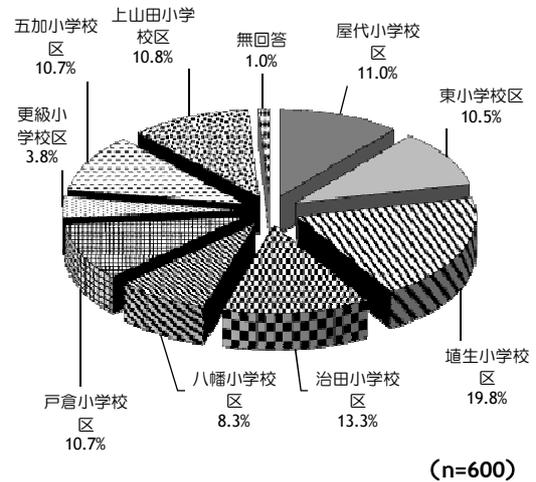


図 2-4-2 居住区域別回答割合

#### 【参考】

##### ～通学区域～

屋代小学校	大字屋代、大字粟佐
東小学校	大字雨宮、大字土口、大字生萱、大字森、大字倉科
埴生小学校	大字寂蒔、大字鑄物師屋、大字打沢、大字小島、大字桜堂、 大字杭瀬下、杭瀬下一・二・三・四・五・六丁目、大字新田、大字中
治田小学校	大字稻荷山、大字野高場、大字桑原、大字八幡のうち中原区
八幡小学校	大字八幡 (中原区を除く。)
戸倉小学校	大字磯部、大字戸倉、大字戸倉温泉、大字若宮のうち字八王子、 大字上徳間のうち今井町区
更級小学校	大字若宮 (字八王子を除く。)、大字羽尾、大字須坂
五加小学校	大字上徳間 (今井町区を除く。)、大字内川、大字千本柳、大字小船山
上山田小学校	大字力石、大字新山、大字上山田、上山田温泉一・二・三・四丁目

## (5) 居住年数

居住年数別では、「30年以上(61.3%)」が最も多く約6割を占めている。「5～10年未満(4.8%)」が最も少ない。

平成24年調査結果と比較すると、「30年以上」は4.3%減少、「5～10年未満」は同率、その他はいずれもわずかながら増加している。

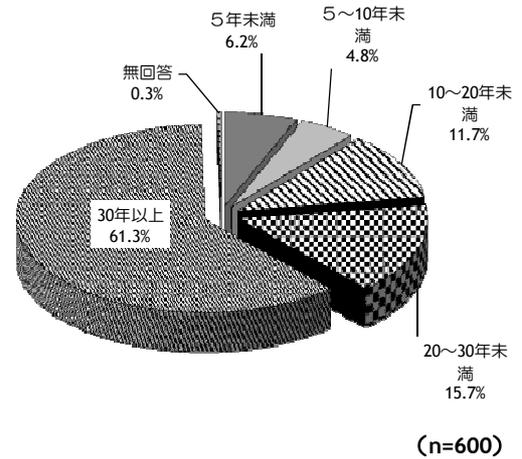
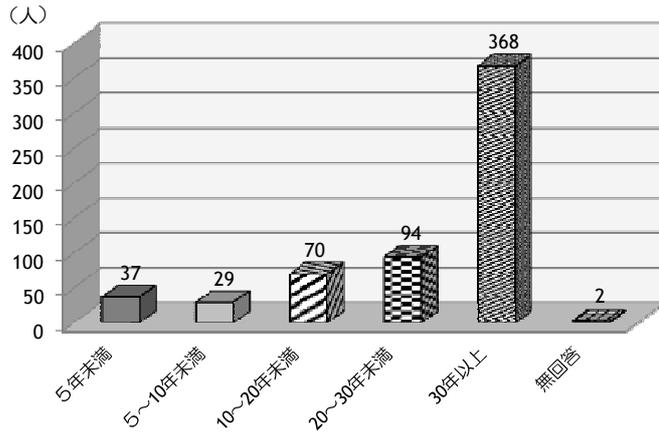


図 2-5-1 居住年数別回答数

図 2-5-2 居住年数別回答割合

### 【居住区域でみる居住年数】

どの小学校区も居住年数「30年以上」が最も多く約6割を占めている。居住年数30年未満については、居住年数と回答率は一概に比例しておらず、居住区域でばらつきがある。

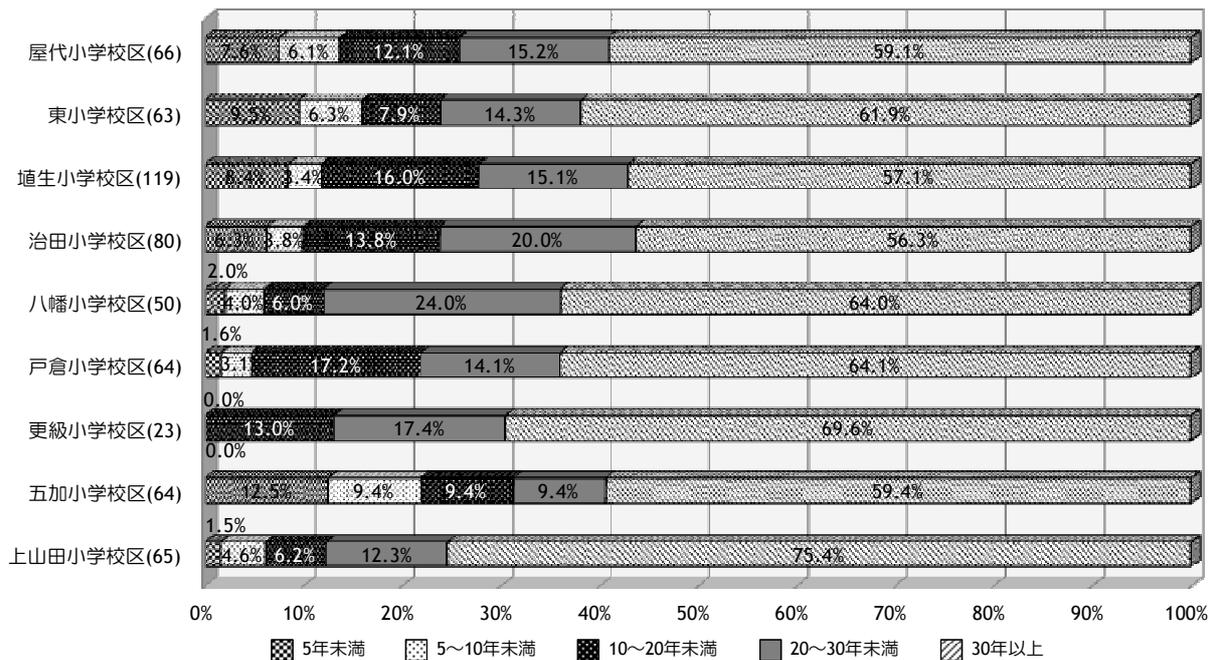
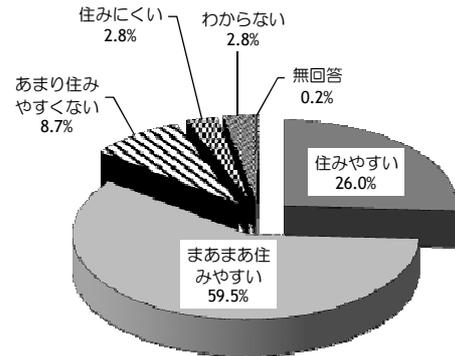
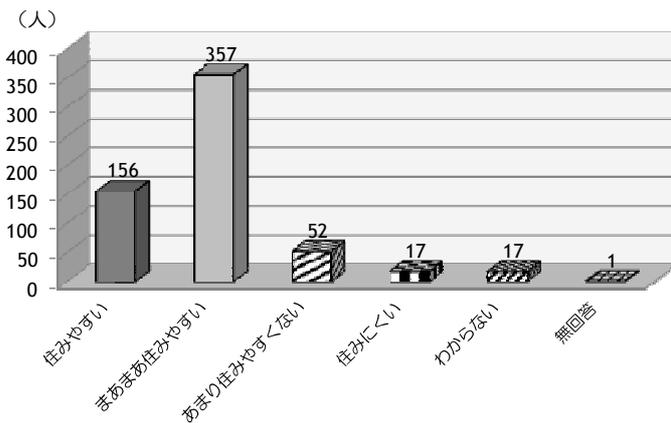


図 2-5-3 居住区域別居住年数の回答割合

## (6) 住みやすさについて

住みやすさについては、「住みやすい(26.0%)」と「まあまあ住みやすい(59.5%)」の2つを合わせた「住みやすい(85.5%)」が8割を超えている。「あまり住みやすくない(8.7%)」と「住みにくい(2.8%)」の2つを合わせた「住みにくい(11.5%)」は約1割である。

平成24年調査結果と比較すると、住みやすいが+1.4%、まあまあ住みやすいが-1.3%、あまり住みやすくないが-0.5%、住みにくいが+0.7%となっている。



(n=600)

図 2-6-1 「住みやすさ」についての回答数

図 2-6-2 「住みやすさ」についての回答割合

### 【居住年数別の住みやすさについて】

各居住年数とも「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の2つを合わせた「住みやすい」が7割以上であった。

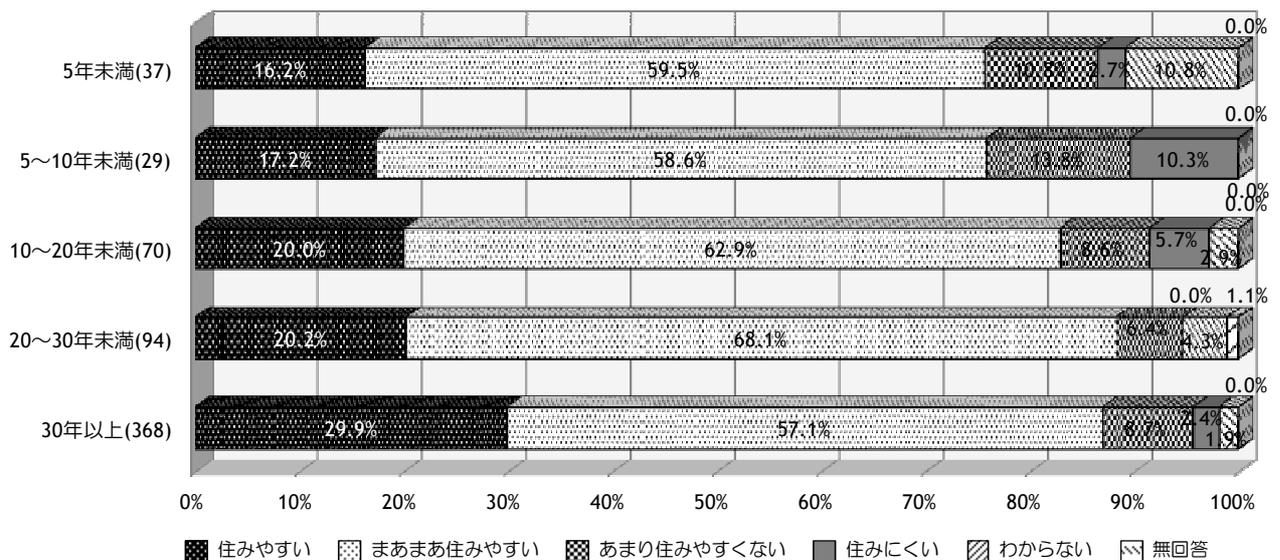


図 2-6-3 居住年数別「住みやすさ」についての回答割合

【居住地域別の住みやすさについて】

「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の2つを合わせた“住みやすい”がほとんどの居住地域で8割以上であったが、「東小学校区(77.8%)」「戸倉小学校区(79.7%)」「上山田小学校区(75.4%)」については8割以下であった。

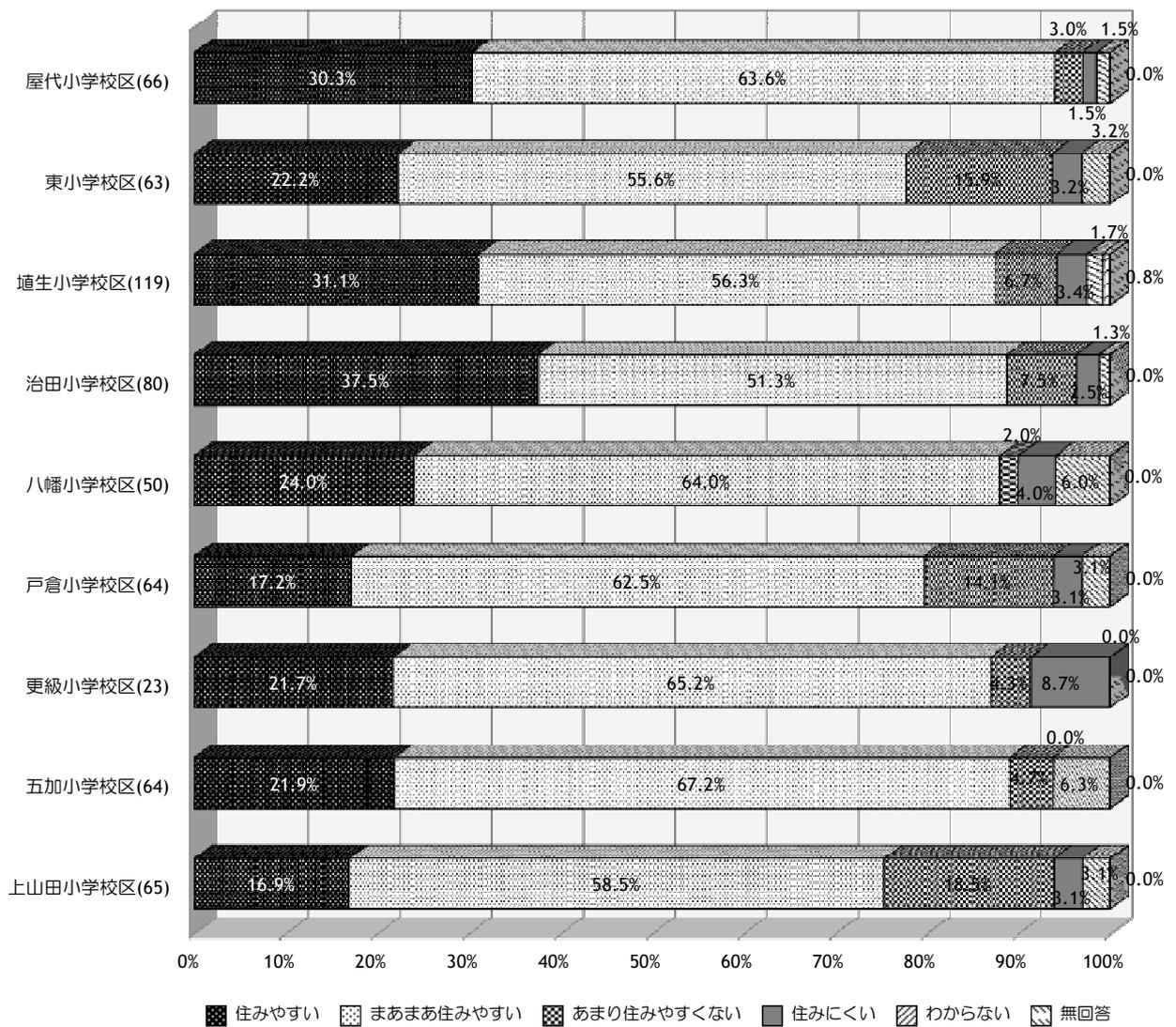
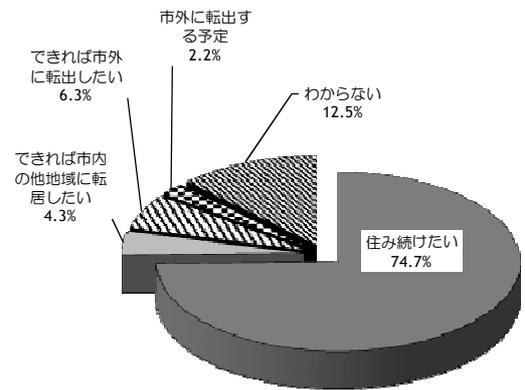
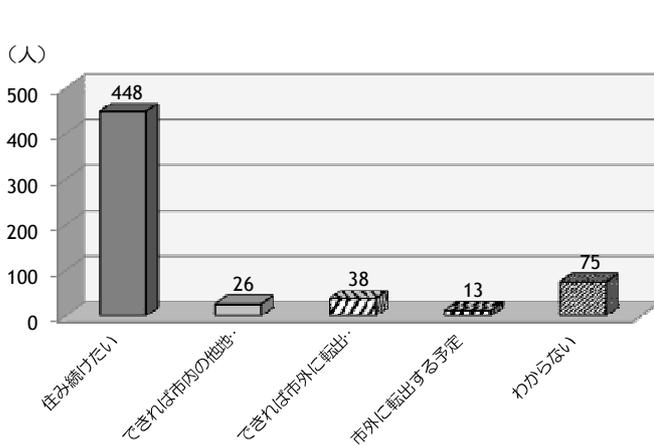


図 2-6-4 居住区域別「住みやすさ」についての回答割合

## (7) 今後の居留意向

今後の居留意向は、「住み続けたい(74.7%)」が最も多く、「市外に転出する予定(2.2%)」が最も少ない。

「住み続けたい(74.7%)」と「出来れば市内の他地域に転居したい(4.3%)」を合わせると、回答者の約8割が、千曲市での居留意向を持っていることがうかがえる。



(n=600)

図 2-7-1 居留意向の回答数

図 2-7-2 居留意向の回答割合

### 【居住年数別の居留意向】

各居住年数とも「住み続けたい」の割合が最も高い。

しかし、居住年数が低くなるにつれて「住み続けたい」の割合が低下している。

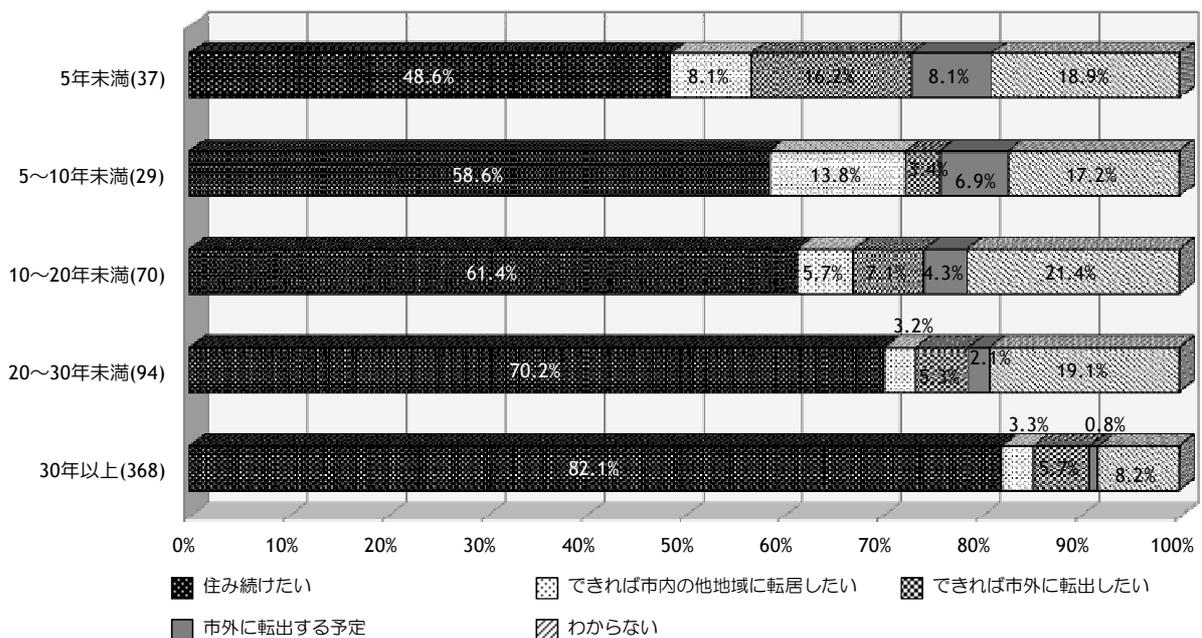


図 2-7-3 居住年数別居留意向の回答割合

### 【居住地域別の居住意向】

各居住地域とも「住み続けたい」の割合が最も高い。「住み続けたい」と「出来れば市内の他地域に転居したい」を合わせると、回答者の約7割が千曲市での居住意向を持っていることがうかがえる。

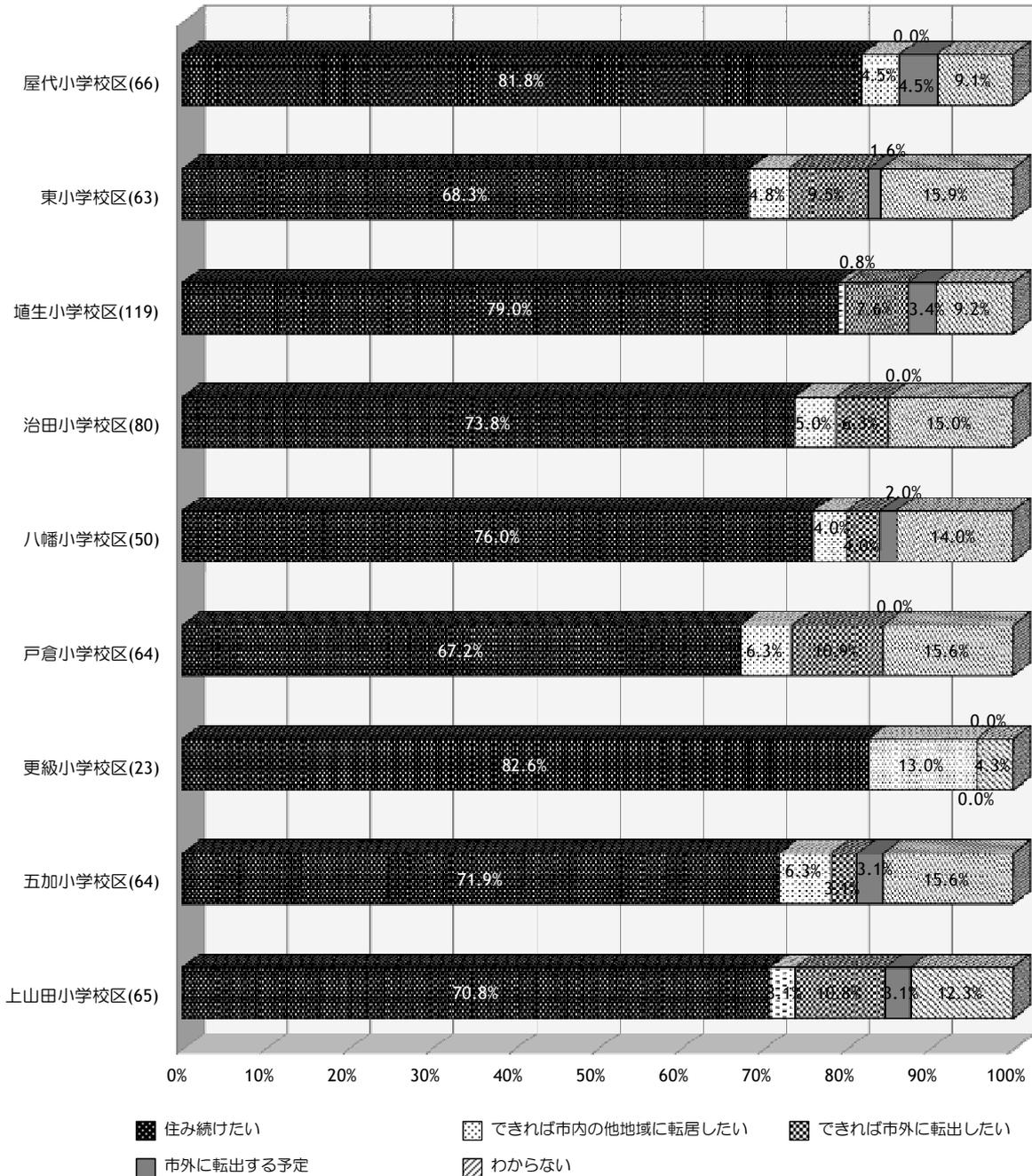


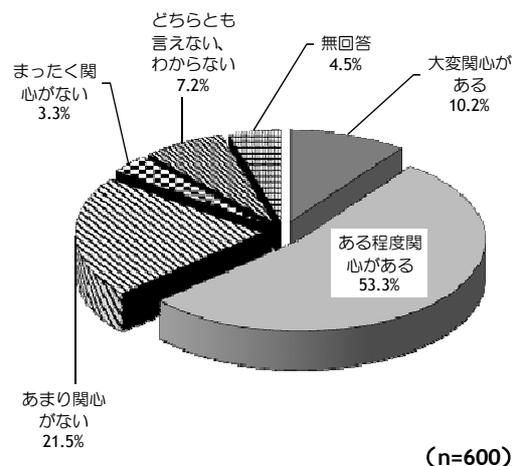
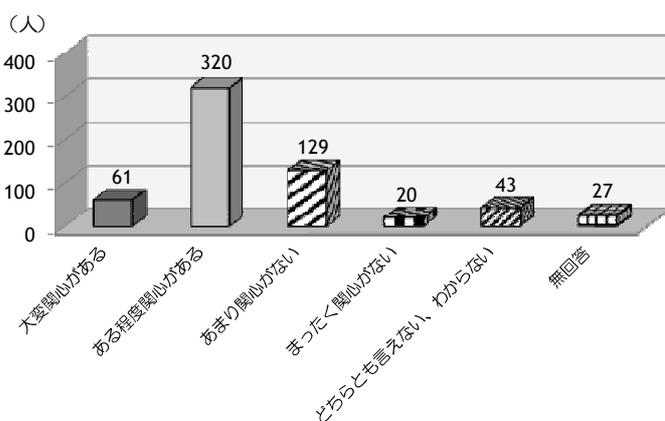
図 2-7-4 居住区域別居住意向の回答割合

### 3. 調査の結果

#### (1) 市政への関心

「ある程度関心がある(53.3%)」、「あまり関心がない(21.5%)」、「大変関心がある(10.2%)」の順となった。

「ある程度関心がある(53.3%)」、「大変関心がある(10.2%)」の2つを合わせた“関心がある”は63.5%となり、約6割のみなさんが市政への関心があるという結果になった。



(n=600)

図 3-1-1 市政への関心の回答数

図 3-1-2 市政への関心の回答割合

#### 【年齢別の市政への関心】

若い年代ほど市政への関心が低下している。

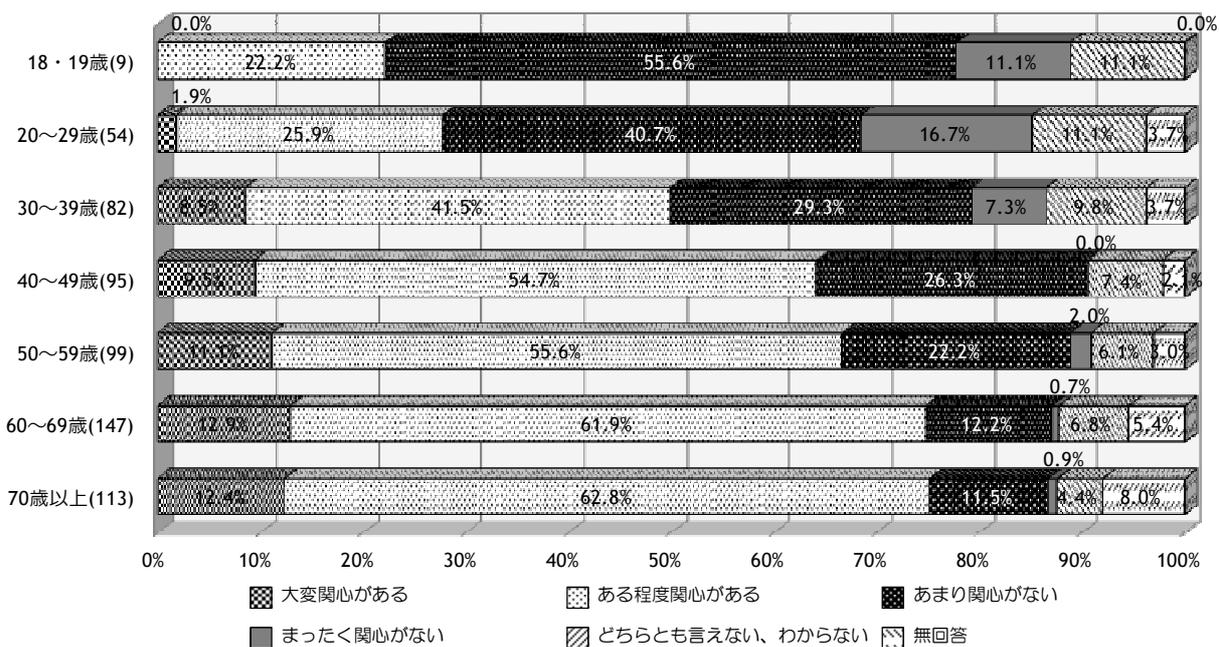


図 3-1-3 年齢別市政への関心の回答割合

## (2) 市政への満足度と重要度

問2-2 以下の項目は、総合計画に掲げた32の達成方針とその目標が達成された状態を示しています。

それぞれの項目について、「千曲市にとって重要か」、「目標が達成された状態と比較して現状は満足しているか」、あなたのお考えに1つ〇をつけてください

### <市政にとっての重要度>

「重要である」の割合が高いのは、「上下水道(70.8%)」、「保健・医療(69.3%)」、「安全・安心(63.7%)」、「ごみ処理(60.2%)」であり、6割を超えている。次いで「健康づくり(57.7%)」、「教育(56.5%)」、「移住・定住(56.3%)」、「子育て(55.5%)」、「障害者福祉(50.8%)」、「広域行政(50.5%)」の順となっていて、5割を超えている。

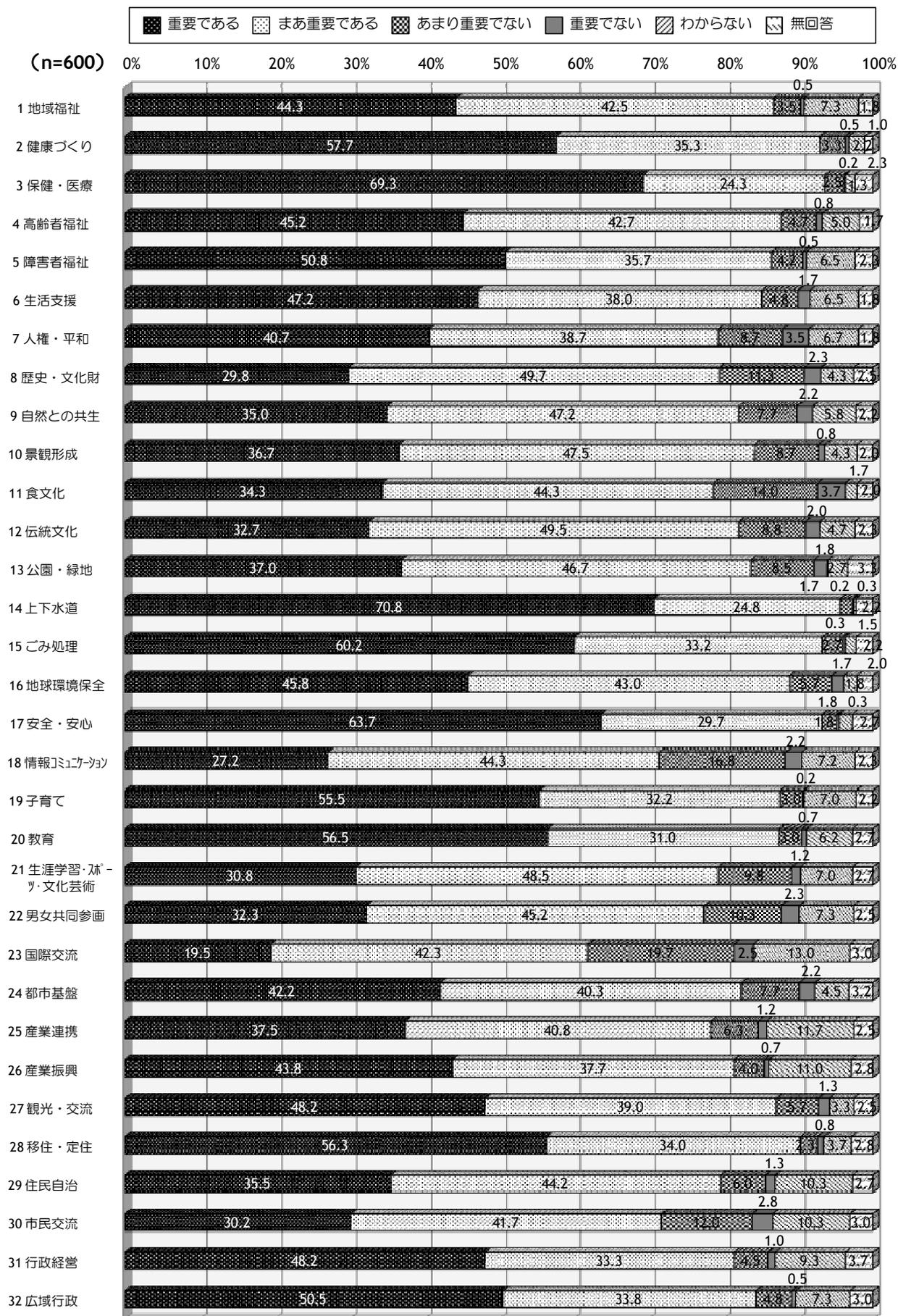
一方、重要度の低い項目では、「国際交流(19.5%)」の割合が最も低く、次いで「情報コミュニケーション(27.2%)」、「歴史・文化財(29.8%)」の順となっている。

### <市政への重要度の意識変化>

「重要である」と「まあ重要である」の2つを合わせた“重要”の割合が、平成24年調査結果と比較して増加しているのは「景観形成(+3.8%)」、「情報コミュニケーション(+3.2%)」、「国際交流(+2.8%)」、「食文化(+2.1%)」、「伝統文化(+2.0%)」などとなっている。

一方、割合が減少しているのは、「教育(-4.2%)」、「住民自治(-3.0%)」、「生活支援(-2.9%)」、「生涯学習・スポーツ・文化芸術(-2.8%)」、「市民交流(-2.7%)」などとなっている。

< 市政にとっての重要度 >



## <重要度の平均スコア>

32項目の市政にとっての重要度について、「重要である」に+10点、「まあ重要である」に+5点、「あまり重要でない」に-5点、「重要でない」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。これによると平均スコアの最大は+10点、最小は-10点であり点数が大きいほど重要度が高いことになる。

平均スコアが最も高いのは、「上下水道(8.23)」である。次いで「保健・医療(8.01)」、「安全・安心(7.73)」、「ごみ処理(7.51)」、「健康づくり(7.32)」などの順となっている。

平均スコアが最も低いのは、「国際交流(2.83)」である。次いで「情報コミュニケーション(3.88)」、「市民交流(4.22)」、「食文化(4.58)」、「歴史・文化財(4.67)」などの順となっている。また、32項目全体の平均スコアは5.91であった。(前年度の平均スコアは、5.83)

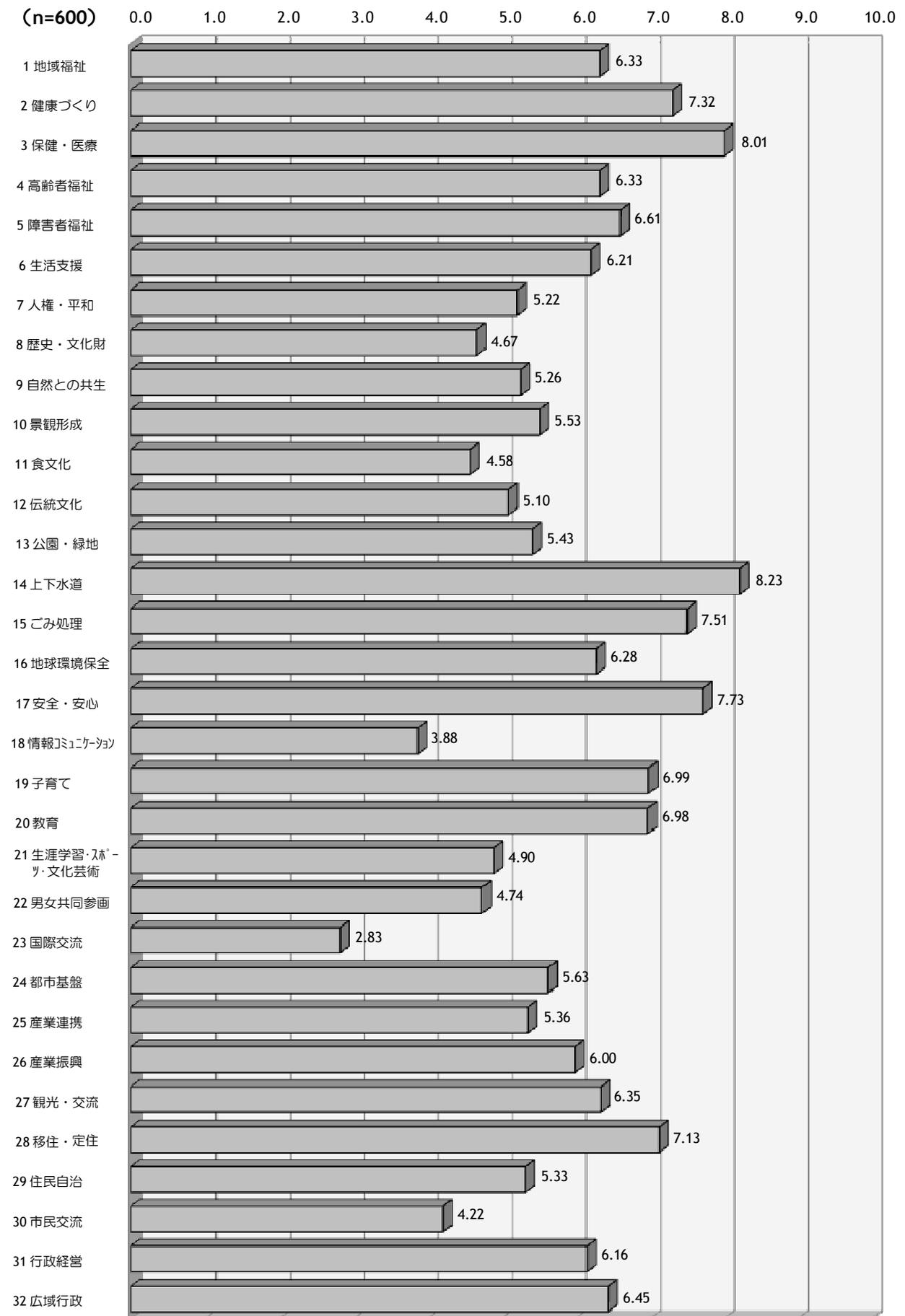
平成24年調査結果とのランキング比較(15頁参照)において、「上下水道(2位から1位)」、「保健・医療(1位から2位)」、「ごみ処理(5位から4位)」、「健康づくり(4位から5位)」と順位に変動があったものの、上位の5項目は同じであった。

下位についても、「歴史・文化財(29位から28位)」、「食文化(30位から29位)」、「市民交流(28位から30位)」と順位に変動があったものの、下位の6項目は同じであった。

ランキングが大幅に上昇したのは、「景観形成(25位から19位)」、「観光・交流(16位から11位)」などである。一方、ランキングが大幅に下降したのは、「生活支援(11位から15位)」、「住民自治(18位から22位)」、「人権・平和(20位から24位)」などである。

<重要度の平均スコア>

(n=600)



<重要度の平均スコアランキング>

ランク			項 目	ポイント数		
H25 (今回)	順位 変動	H24 (前回)		H25 (今回)	H24 (前回)	差
1	↑	2	14 上下水道	8.23 P	8.16 P	0.06
2	↓	1	3 保健・医療	8.01 P	8.30 P	△ 0.29
3	→	3	17 安全・安心	7.73 P	7.61 P	0.11
4	↑	5	15 ごみ処理	7.51 P	7.38 P	0.13
5	↓	4	2 健康づくり	7.32 P	7.45 P	△ 0.13
6	↑	7	28 移住・定住	7.13 P	7.08 P	0.05
7	↑	8	19 子育て	6.99 P	6.70 P	0.29
8	↓	6	20 教育	6.98 P	7.38 P	△ 0.40
9	→	9	5 障害者福祉	6.61 P	6.63 P	△ 0.02
10	→	10	32 広域行政	6.45 P	6.60 P	△ 0.15
11	↑	16	27 観光・交流	6.35 P	6.00 P	0.35
12	→	12	1 地域福祉	6.33 P	6.44 P	△ 0.11
13	↑	14	4 高齢者福祉	6.33 P	6.27 P	0.06
14	↓	13	16 地球環境保全	6.28 P	6.30 P	△ 0.02
15	↓	11	6 生活支援	6.21 P	6.49 P	△ 0.28
16	↓	15	31 行政経営	6.16 P	6.22 P	△ 0.06
17	→	17	26 産業振興	6.00 P	5.66 P	0.34
18	↑	21	24 都市基盤	5.63 P	5.38 P	0.25
19	↑	25	10 景観形成	5.53 P	4.93 P	0.60
20	↓	19	13 公園・緑地	5.43 P	5.50 P	△ 0.08
21	↑	22	25 産業連携	5.36 P	5.28 P	0.08
22	↓	18	29 住民自治	5.33 P	5.56 P	△ 0.23
23	→	23	9 自然との共生	5.26 P	5.12 P	0.14
24	↓	20	7 人権・平和	5.22 P	5.49 P	△ 0.27
25	↑	26	12 伝統文化	5.10 P	4.70 P	0.40
26	↓	24	21 生涯学習・スポーツ・文化芸術	4.90 P	5.02 P	△ 0.12
27	→	27	22 男女共同参画	4.74 P	4.40 P	0.34
28	↑	29	8 歴史・文化財	4.67 P	4.35 P	0.32
29	↑	30	11 食文化	4.58 P	4.13 P	0.45
30	↓	28	30 市民交流	4.22 P	4.38 P	△ 0.16
31	→	31	18 情報コミュニケーション	3.88 P	3.40 P	0.48
32	→	32	23 国際交流	2.83 P	2.19 P	0.64

### < 市政への満足度 >

「満足している」と「まあ満足している」の2つを合わせた“満足”の割合が最も高いのは、「上下水道(69.0%)」である。次いで「食文化(61.3%)」、「地球環境保全(60.8%)」、「健康づくり(58.8%)」、「安全・安心(55.8%)」、「歴史・文化財(54.0%)」、「ごみ処理(53.5%)」などの順となっている。

「あまり満足していない」と「満足していない」の2つを合わせた“不満”の割合が最も高いのは、「観光・交流(58.0%)」である。次いで「移住・定住(55.6%)」、「都市基盤(55.5%)」、「産業振興(51.5%)」などの順となっている。

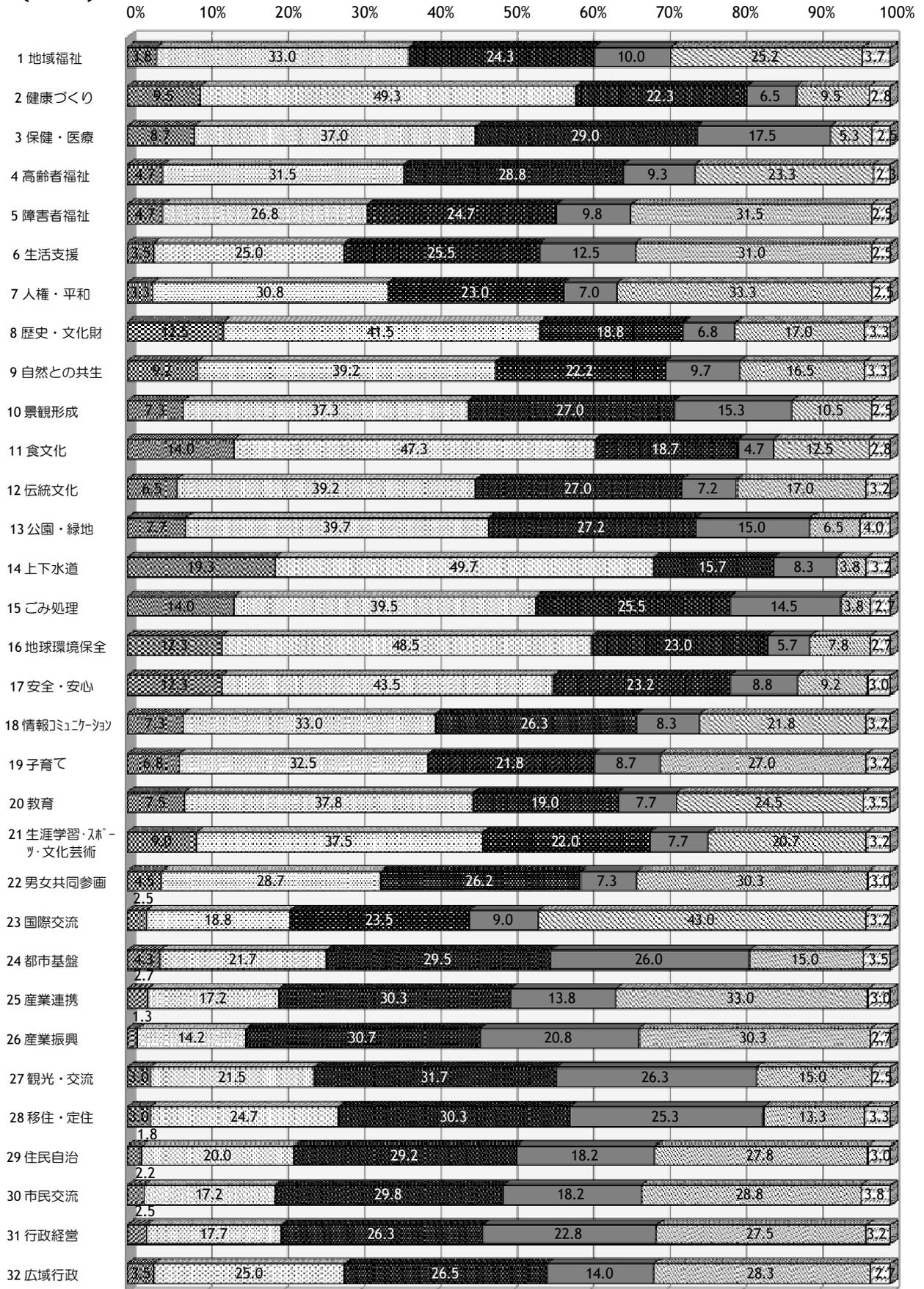
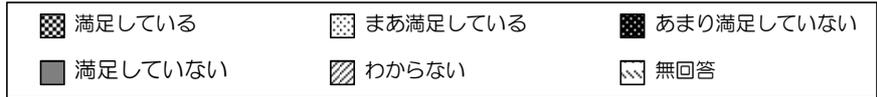
### < 市政への満足度の意識変化 >

市政への満足度についての平成24年調査結果との比較は、“満足”の割合が増加しているのは「教育(+6.4%)」、「情報コミュニケーション(+5.7%)」、「広域行政(+4.3%)」、「住民自治(+3.5%)」などとなっている。

一方、“不満”の割合が増加しているのは「都市基盤(+5.5%)」、「ごみ処理(+3.5%)」、「国際交流(+3.5%)」などとなっている。

< 市政への満足度 >

(n=600)



## <満足度の平均スコア>

重要度と同様に、市政への満足度についても、32項目ごとに「満足している」に+10点、「まあ満足している」に+5点、「あまり満足していない」に-5点、「満足していない」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。

平均スコアが最も高いのは、「上下水道(2.80)」である。次いで「食文化(2.37)」、「地球環境保全(1.94)」、「歴史・文化財(1.70)」、「健康づくり(1.65)」などの順となっている。

平均スコアが最も低いのは、「観光・交流(-2.84)」である。次いで「産業振興(-2.78)」、「都市基盤(-2.56)」、「移住・定住(-2.52)」、「行政経営(-2.47)」などの順となっている。

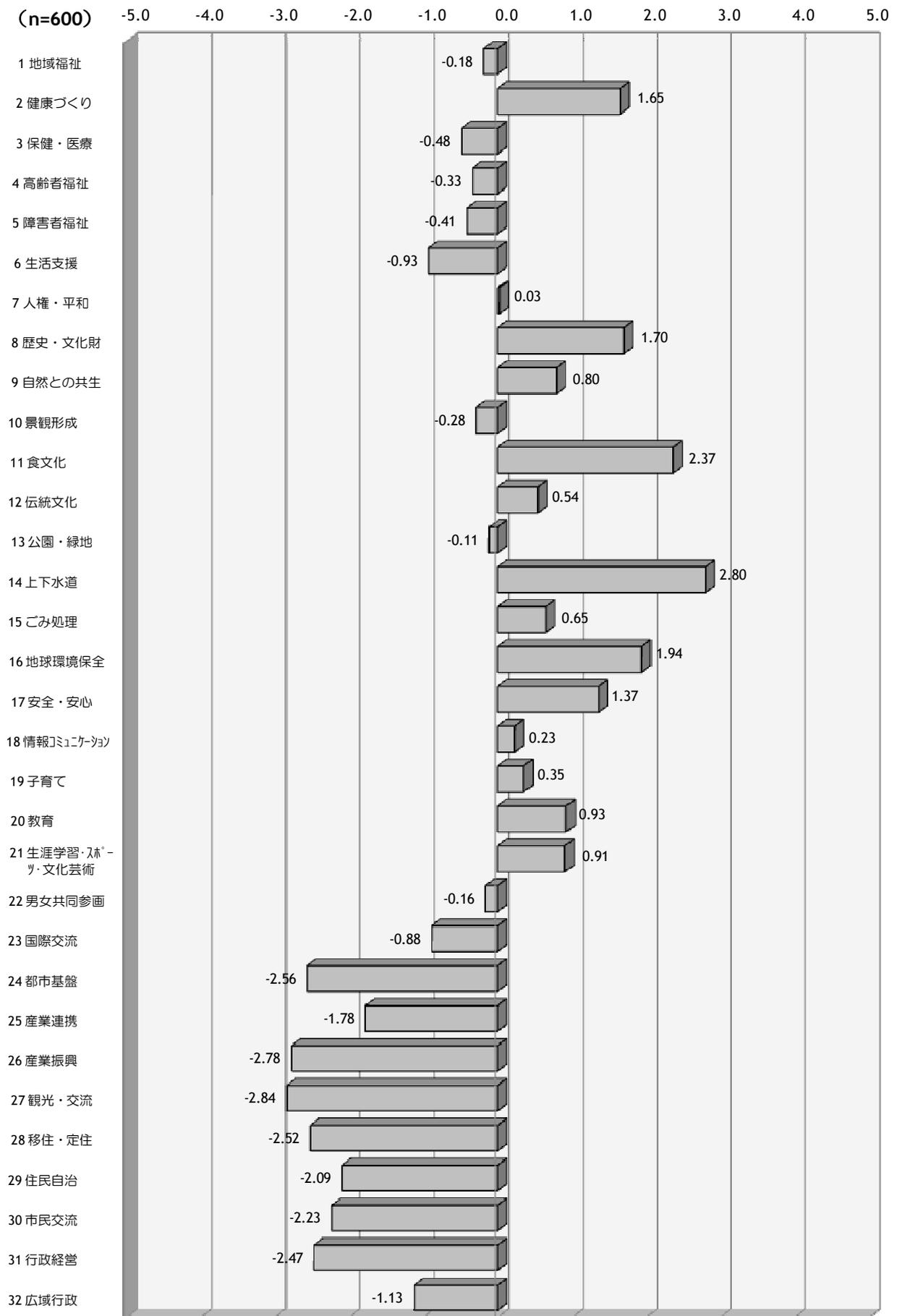
また、32項目全体の平均スコアは-0.25であった。(前年度の平均スコアは、-0.27)

平成24年調査結果とのランキング比較(20頁参照)において、「上下水道(1位)」及び「食文化(2位)」の変動はなかった。上位について、「地球環境保全(5位から3位)」、「歴史・文化財(3位から4位)」、「健康づくり(4位から5位)」と順位に変動があったものの、上位5項目は同じであった。

下位について、「住民自治(28位から26位)」、「行政経営(30位から28位)」、「都市基盤(26位から30位)」、「産業振興(32位から31位)」、「観光・交流(31位から32位)」と順位に変動があったものの、下位7項目は同じであった。

ランキングが大幅に上昇したのは、「教育(13位から7位)」、「人権・平和(18位から14位)」などで、ランキングが大幅に下降したのは、「公園・緑地(11位から15位)」、「景観形成(14位から18位)」、「都市基盤(26位から30位)」である。

<満足度の平均スコア>



<満足度の平均スコアランキング>

ランク			項 目	ポイント数		
H25 (今回)	順位 変動	H24 (前回)		H25 (今回)	H24 (前回)	差
1	→	1	14 上下水道	2.80 P	2.75 P	0.05
2	→	2	11 食文化	2.37 P	2.09 P	0.28
3	↑	5	16 地球環境保全	1.94 P	1.50 P	0.44
4	↓	3	8 歴史・文化財	1.70 P	1.88 P	△ 0.18
5	↓	4	2 健康づくり	1.65 P	1.83 P	△ 0.18
6	↑	7	17 安全・安心	1.37 P	1.05 P	0.32
7	↑	13	20 教育	0.93 P	0.32 P	0.61
8	↑	9	21 生涯学習・スポーツ・文化芸術	0.91 P	0.64 P	0.27
9	↓	6	9 自然との共生	0.80 P	1.28 P	△ 0.48
10	↓	8	15 ごみ処理	0.65 P	1.01 P	△ 0.36
11	↓	10	12 伝統文化	0.54 P	0.38 P	0.16
12	→	12	19 子育て	0.35 P	0.33 P	0.02
13	↑	16	18 情報コミュニケーション	0.23 P	-0.11 P	0.34
14	↑	18	7 人権・平和	0.03 P	-0.23 P	0.26
15	↓	11	13 公園・緑地	-0.11 P	0.38 P	△ 0.49
16	↑	17	22 男女共同参画	-0.16 P	-0.12 P	△ 0.04
17	↓	15	1 地域福祉	-0.18 P	0.12 P	△ 0.30
18	↓	14	10 景観形成	-0.28 P	0.19 P	△ 0.47
19	↑	22	4 高齢者福祉	-0.33 P	-0.75 P	0.42
20	→	20	5 障害者福祉	-0.41 P	-0.56 P	0.15
21	↑	23	3 保健・医療	-0.48 P	-0.84 P	0.36
22	↓	19	23 国際交流	-0.88 P	-0.49 P	△ 0.39
23	↓	21	6 生活支援	-0.93 P	-0.70 P	△ 0.23
24	↑	25	32 広域行政	-1.13 P	-1.55 P	0.43
25	↓	24	25 産業連携	-1.78 P	-1.54 P	△ 0.24
26	↑	28	29 住民自治	-2.09 P	-2.30 P	0.21
27	→	27	30 市民交流	-2.23 P	-2.18 P	△ 0.05
28	↑	30	31 行政経営	-2.47 P	-2.65 P	0.18
29	→	29	28 移住・定住	-2.52 P	-2.62 P	0.10
30	↓	26	24 都市基盤	-2.56 P	-1.88 P	△ 0.68
31	↑	32	26 産業振興	-2.78 P	-3.05 P	0.28
32	↓	31	27 観光・交流	-2.84 P	-2.69 P	△ 0.15

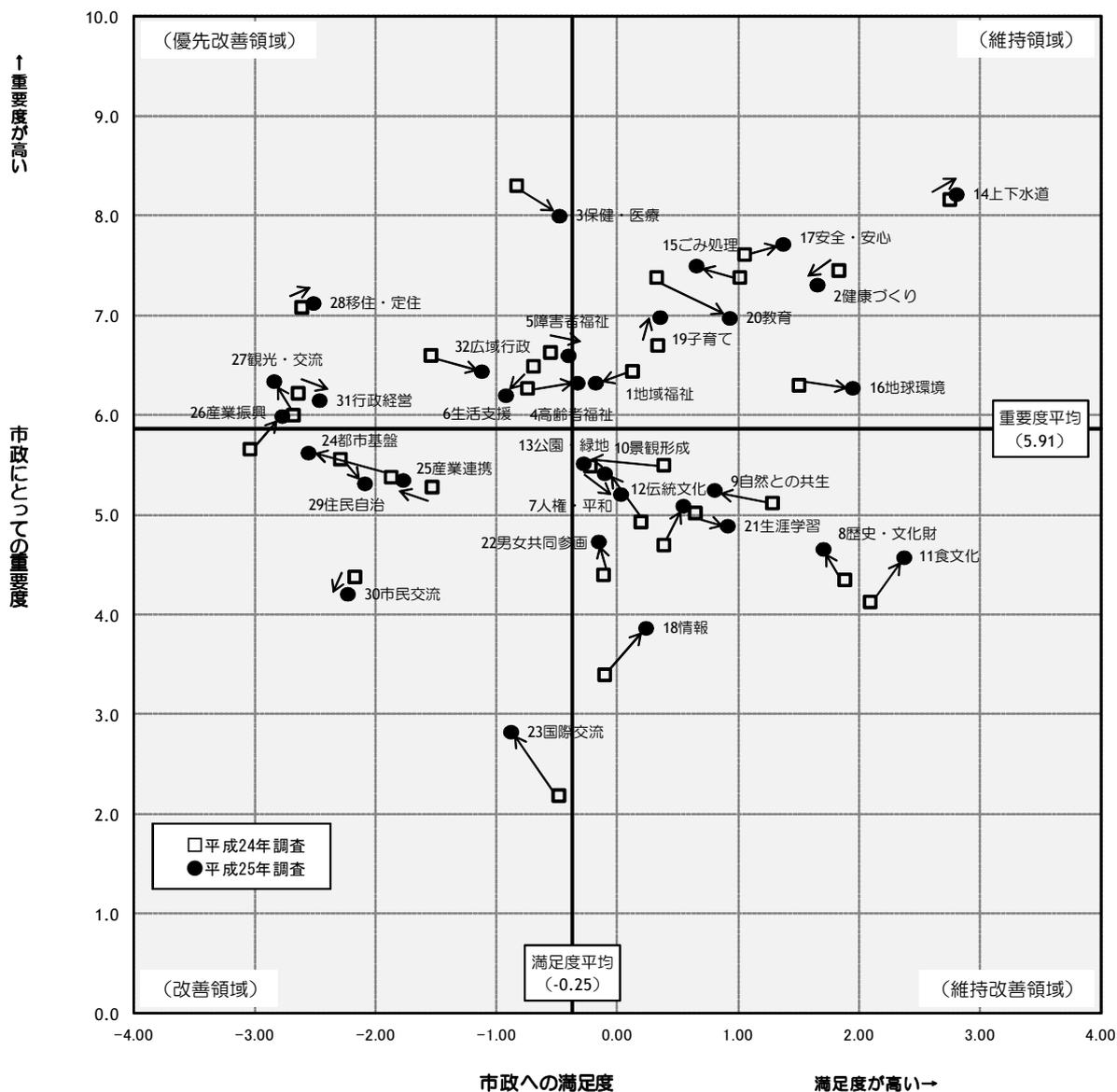
<重要度と満足度の相関>

32項目について、市政にとっての重要度の平均スコアと市政への満足度の平均スコアの相関を示した。

この図では、より左上にある項目ほど満足度が低く、かつ重要度が高いことになり、今後の市政の重点課題になるものと考えられる。

満足度が低く重要度が高い項目としては「保健・医療」、「移住・定住」、「観光・交流」、「行政経営」などがあげられる。

また、満足度が高く重要度も高い項目としては、「上下水道」、「安全・安心」、「ごみ処理」、「健康づくり」などがあげられる。



### (3) 市政への要望

問 2-3 今後、千曲市がより暮らしやすい地域になるためには、問 2-2 に示した「総合計画に掲げた 32 の達成方針」のうち、どの項目が重要とお考えですか。1 から 32 までの項目の中から、特に重要と考える項目を 5 つ選び、下の枠の中に番号を記入してください。

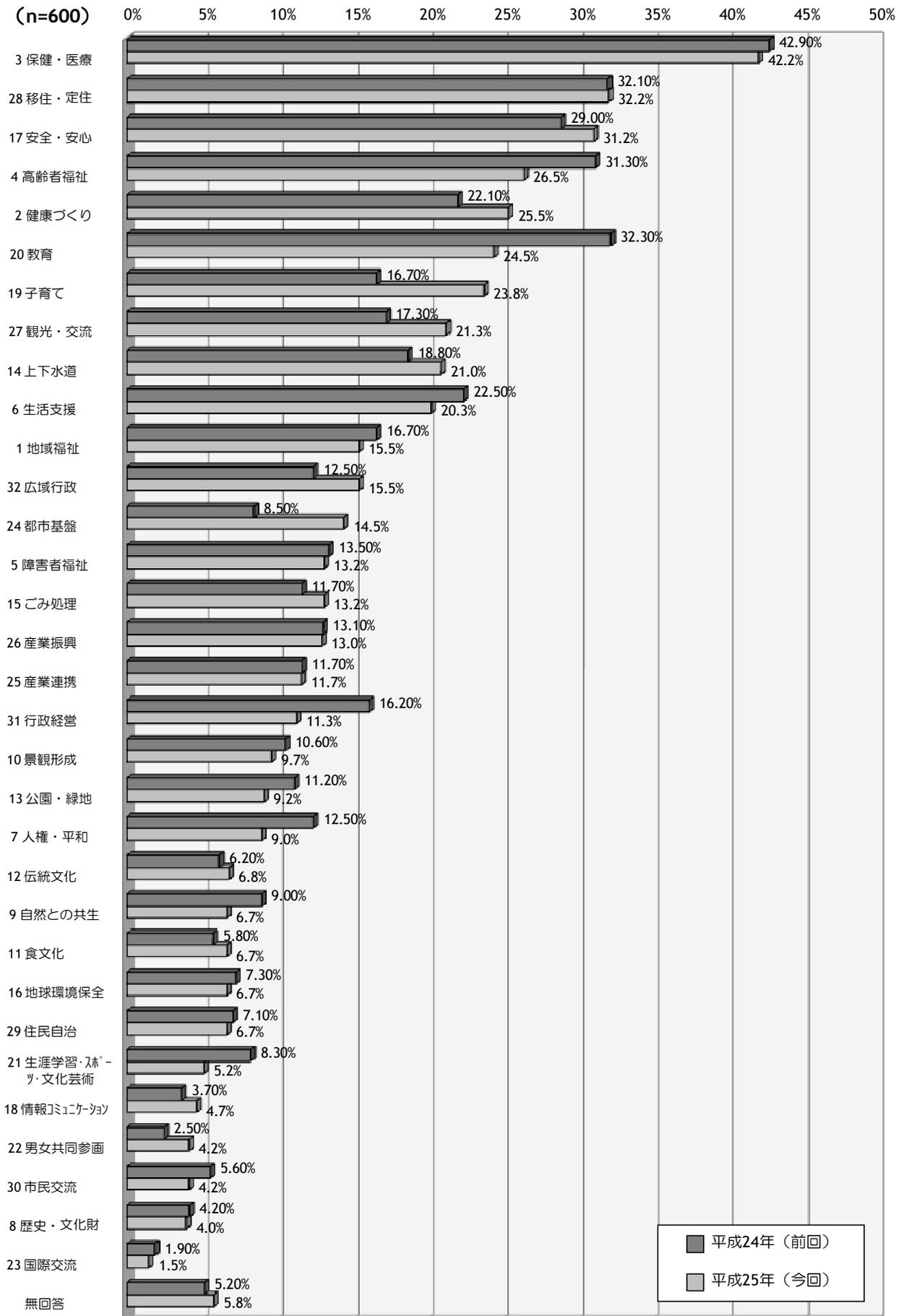
特に重要だと思う施策については、昨年と同様に「保健・医療(42.2%)」が最も多かった。次いで「移住・定住(32.2%)」、「安全・安心(31.2%)」、「高齢者福祉(26.5%)」、「健康づくり(25.5%)」、「教育(24.5%)」などの順になっている。

平成 24 年調査との比較において、増加しているのは「子育て(+7.1%)」、「都市基盤(+6.0%)」、「観光・交流(+4.0%)」、「健康づくり(+3.4%)」などである。

一方、減少しているのは「教育(-7.8%)」、「行政経営(-4.9%)」、「高齢者福祉(-4.8%)」などである。

< 市政への要望 >

(n=600)



【性別・年齢別の市政への要望】

性別では、共に「保健・医療」が1位で、2位から5位までは、順位は異なっているが概ね同じ項目となっている。

年齢別では、「保健・医療」が全ての年代で4位以内となっており、20代、30代、40代、50代では1位となっている。また、70歳以上を除く全ての年齢層で「移住・定住」、及び30代以上の年齢層で「安全・安心」の割合が共通して高くなっている。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位		
全 体 (n=600)	保健・医療 (42.2%)	移住・定住 (32.2%)	安全・安心 (31.2%)	高齢者福祉 (26.5%)	健康づくり (25.5%)		
男 性 (n=267)	保健・医療 (36.0%)	安全・安心 (31.5%)	移住・定住 (30.7%)	健康づくり (25.1%)	高齢者福祉 (23.6%)		
女 性 (n=331)	保健・医療 (47.1%)	移住・定住 (33.5%)	安全・安心 (30.8%)	高齢者福祉 (29.0%)	教 育 (26.9%)		
18・19歳 (n=9)	移住・定住 (44.4%)	健康づくり (33.3%)	観光・交流 (33.3%)	保健・医療 (22.2%)	高齢者福祉 (22.2%)	障害者福祉 (22.2%)	生活支援 (22.2%)
20 代 (n=54)	保健・医療 (40.7%)	教 育 (35.2%)	移住・定住 (35.2%)	子 育 て (31.5%)	観光・交流 (24.1%)		
30 代 (n=82)	保健・医療 (46.3%)	子 育 て (42.7%)	安全・安心 (37.8%)	移住・定住 (35.4%)	健康づくり (26.8%)		
40 代 (n=95)	保健・医療 (52.6%)	移住・定住 (31.6%)	教 育 (29.5%)	上下水道 (26.3%)	健康づくり (25.3%)	安全・安心 (25.3%)	観光・交流 (25.3%)
50 代 (n=99)	保健・医療 (50.5%)	高齢者福祉 (37.4%)	移住・定住 (32.3%)	健康づくり (29.3%)	安全・安心 (29.3%)		
60 代 (n=147)	移住・定住 (37.4%)	保健・医療 (35.4%)	安全・安心 (33.3%)	健康づくり (28.6%)	高齢者福祉 (26.5%)		
70歳以上 (n=113)	安全・安心 (35.4%)	保健・医療 (33.6%)	上下水道 (28.3%)	高齢者福祉 (27.4%)	教 育 (25.7%)		

#### (4) 市政に対する不満

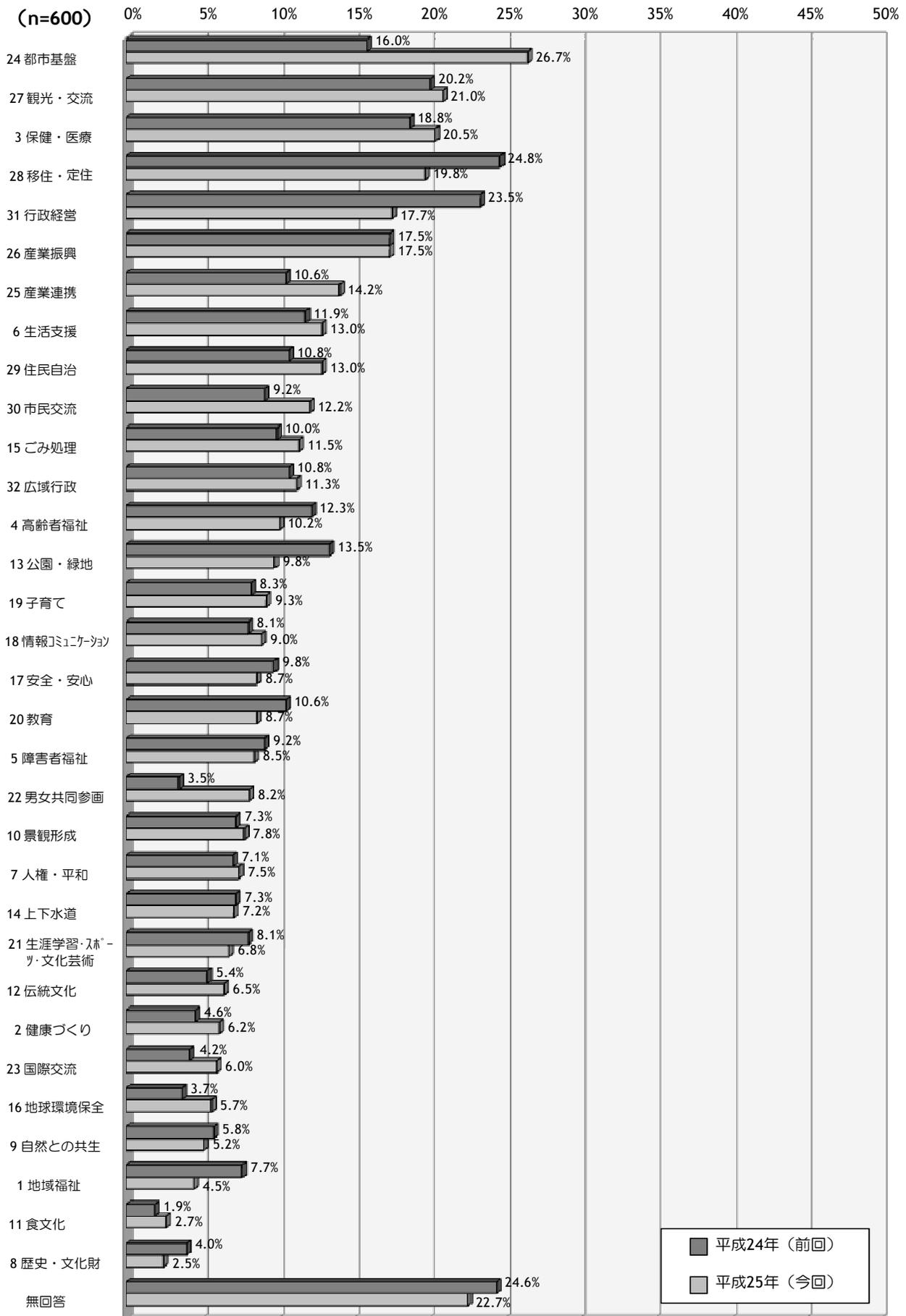
問 2-4 現状で、特に不満を感じている項目を問 2-3 同様 5 つ選び、下の枠の中に番号を記入してください。

特に不満を感じている施策については、「都市基盤(26.7%)」が最も多かった。次いで「観光・交流(21.0%)」、「保健・医療(20.5%)」、「移住・定住(19.8%)」、「行政経営(17.7%)」の順となっている。

平成 24 年調査結果と比較すると、大幅に増加しているのは「都市基盤(+10.7%)」、「男女共同参画(4.7%)」、「産業連携(3.6%)」、「市民交流(3.0%)」などである。

一方、大幅に減少しているのは「行政経営(-5.8%)」、「移住・定住(-5.0%)」、「公園・緑地(-3.7%)」、「地域福祉(-3.2%)」などである。

< 市政に対する不満 >



【性別・年齢別の市政への要望】

性別では、共に「都市基盤」が1位で、2位から5位までは、順位は異なっているが概ね同じ項目となっている。

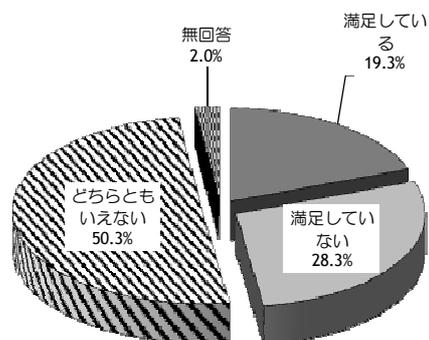
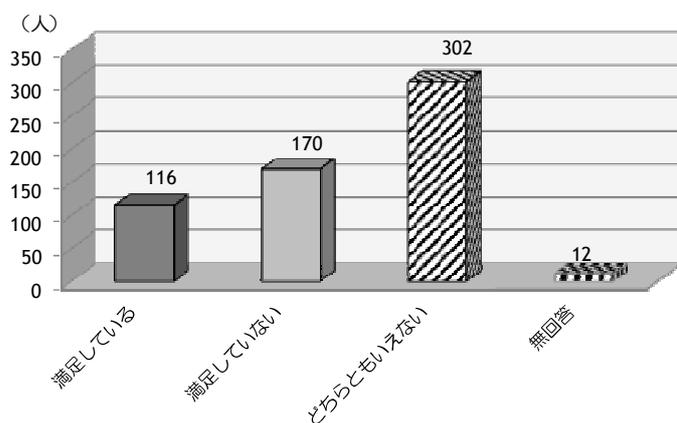
年齢別では、「都市基盤」が全ての年代で3位以内となっており、20代、50代、70歳以上では1位となっている。その他「保健・医療」、「観光・交流」、「移住・定住」の3項目については、年齢層でばらつきはあるものの、共通して高い割合になっている。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位		
全 体 (n=600)	都市基盤 (26.7%)	観光・交流 (21.0%)	保健・医療 (20.5%)	移住・定住 (19.8%)	行政経営 (17.7%)		
男 性 (n=267)	都市基盤 (29.6%)	観光・交流 (22.1%)	移住・定住 (20.2%)	産業振興 (19.5%)	保健・医療 (18.7%)	行政経営 (18.7%)	
女 性 (n=331)	都市基盤 (24.5%)	保健・医療 (21.8%)	観光・交流 (20.2%)	移住・定住 (19.6%)	行政経営 (16.9%)		
18・19歳 (n=9)	産業振興 (33.3%)	移住・定住 (33.3%)	都市基盤 (22.2%)	伝統文化 (22.2%)	ごみ処理 (22.2%)	安全・安心 (22.2%)	情報コミュニケーション (22.2%)
20 代 (n=54)	都市基盤 (29.6%)	移住・定住 (29.6%)	住民自治 (25.9%)	保健・医療 (22.2%)	観光・交流 (20.4%)		
30 代 (n=82)	保健・医療 (30.5%)	都市基盤 (26.8%)	子育て (25.6%)	産業振興 (24.4%)	移住・定住 (24.4%)		
40 代 (n=95)	保健・医療 (32.6%)	都市基盤 (29.5%)	観光・交流 (24.2%)	移住・定住 (17.9%)	行政経営 (16.8%)		
50 代 (n=99)	都市基盤 (39.4%)	観光・交流 (28.3%)	移住・定住 (24.2%)	行政経営 (22.2%)	産業振興 (21.2%)		
60 代 (n=147)	行政経営 (21.1%)	都市基盤 (20.4%)	産業振興 (20.4%)	観光・交流 (18.4%)	保健・医療 (17.0%)		
70歳以上 (n=113)	都市基盤 (20.4%)	観光・交流 (16.8%)	移住・定住 (13.3%)	高齢者福祉 (12.4%)	住民自治 (12.4%)	市民交流 (12.4%)	

## (5) 合併から10年経過した千曲市について

問 2-5 合併から10年経過した千曲市に満足していますか。

合併10年経過については、「どちらともいえない(50.3%)」、「満足していない(28.3%)」、「満足している(19.3%)」となった。



(n=600)

図 3-5-1 合併10年経過の回答数

図 3-5-2 合併10年経過の回答割合

### 【性別の合併10年経過について】

「満足している」の男性が19.5%、女性が19.3%となり、「満足していない」の男性が34.1%、女性が23.9%となった。

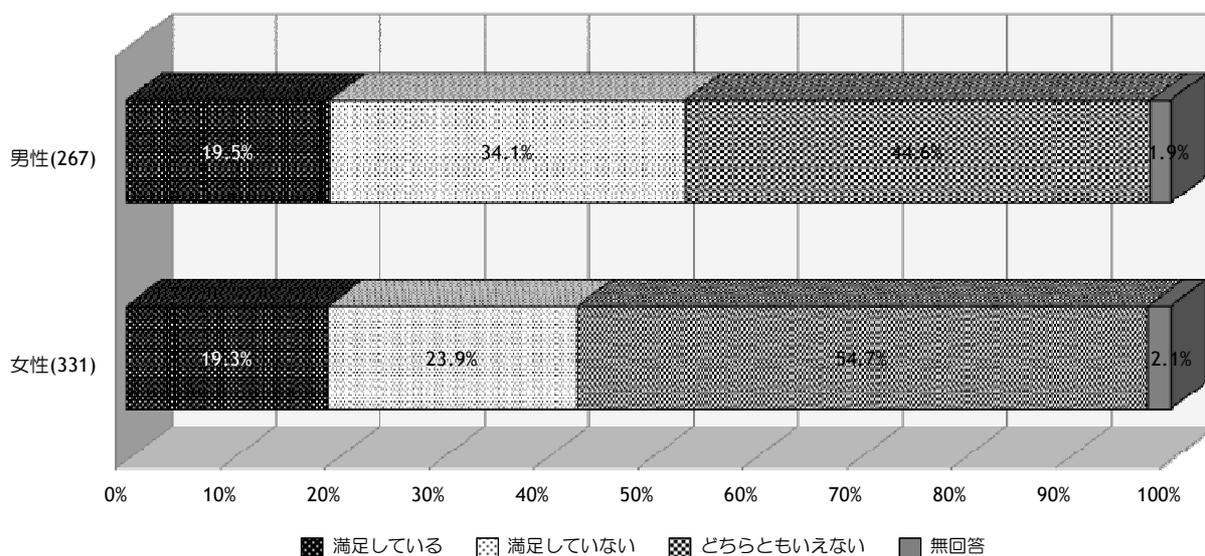


図 3-5-3 性別による合併10年経過の回答割合

【年齢別の合併10年経過について】

18・19歳、20～29歳、40～49歳は「満足している」が高くなっているが、その他の年齢層では「満足していない」が高くなっている。

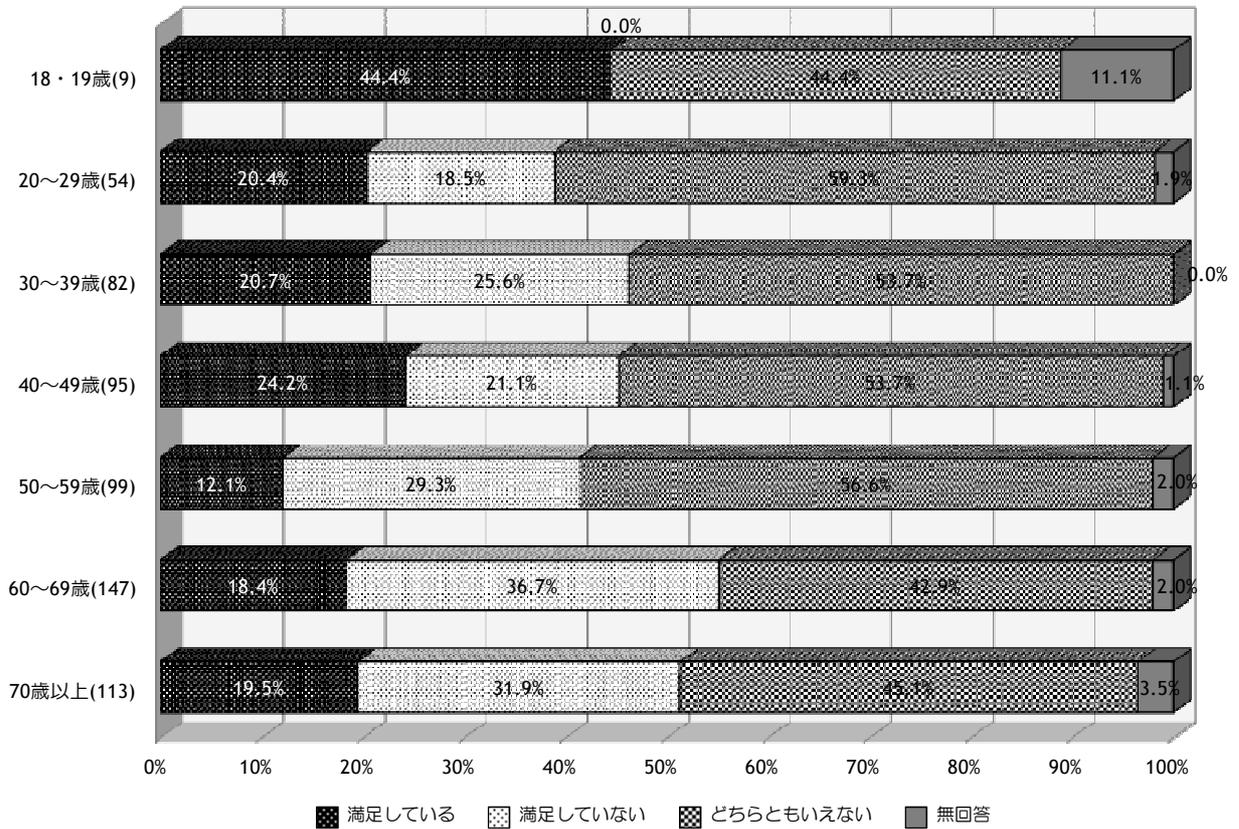


図 3-5-4 年齢別合併10年経過の回答割合

<問 2-5 で「満足している」とお答えいただいた方>

問 2-6 満足していると思うことはなんですか。(複数回答可)

満足していると思うことについては、「市の財政規模が大きくなった(24.1%)」が最も多かった。次いで、「小中学校の耐震化をはじめ、公共施設等の整備が進んだ(19.4%)」、「行政の効率化が図られた(17.3%)」の順となっている。

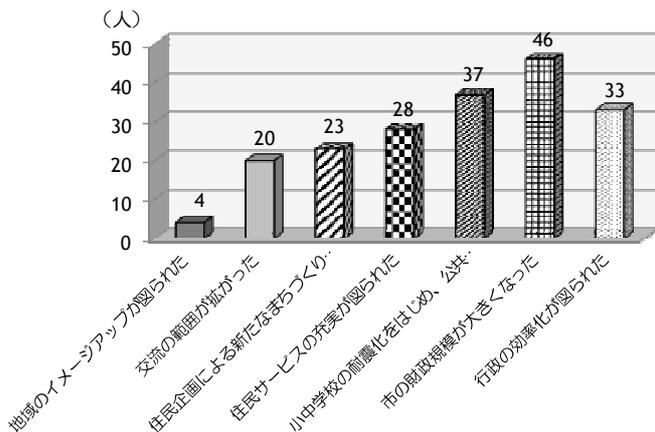


図 3-5-5 満足していると思うことへの回答数

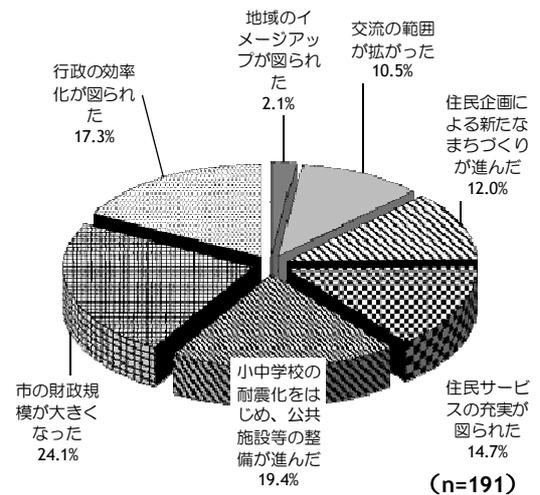


図 3-5-6 満足していると思うことへの回答割合

【性別の満足していると思うことについて】

20～29 歳、50 歳以上は「市の財政規模が大きくなった」が最も割合が高く、18・19 歳、30～39 歳、40～49 歳、60～69 歳では「小中学校の耐震化をはじめ、公共施設等の整備が進んだ」が最も割合が高くなっている。

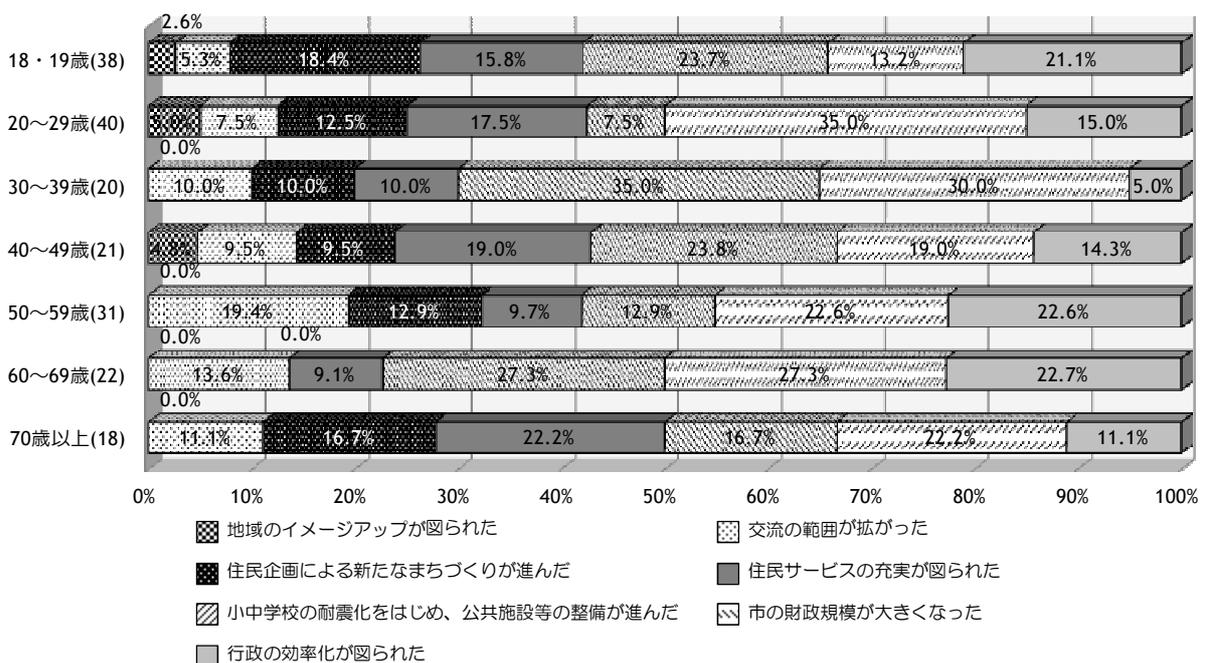


図 3-5-7 年齢別満足していると思うことへの回答割合

<問 2-5 で「満足していない」とお答えいただいた方>

問 2-7 満足していないと思うことはなんですか。(複数回答可)

満足していないと思うことについては、「合併のメリットが感じられない(28.7%)」が最も多かった。次いで、「公共施設の統廃合など、行政の効率化が進んでいない(18.0%)」、「市の一体感の醸成が進んでいない(16.5%)」の順となっている。

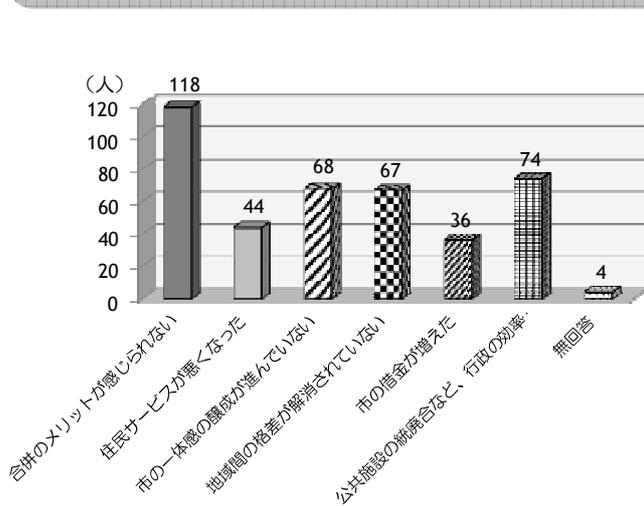


図 3-5-8 満足していないと思うことへの回答数

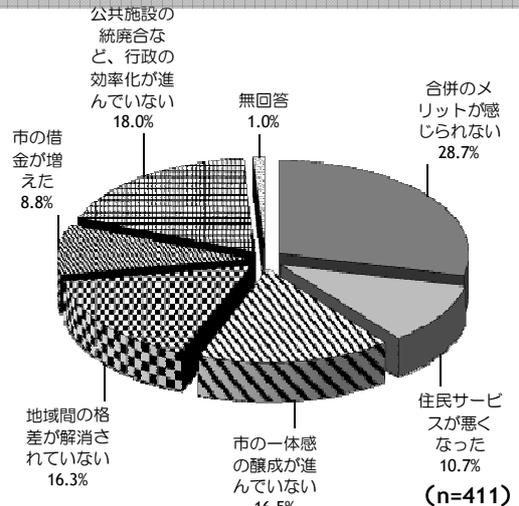


図 3-5-9 満足していないと思うことへの回答割合

【性別の満足していないと思うことについて】

18・19歳を除く全ての年齢層で「合併のメリットが感じられない」が最も割合が高くなっている。その他は、年齢層によりばらつきがある。

また、18・19歳の回答はなかった。

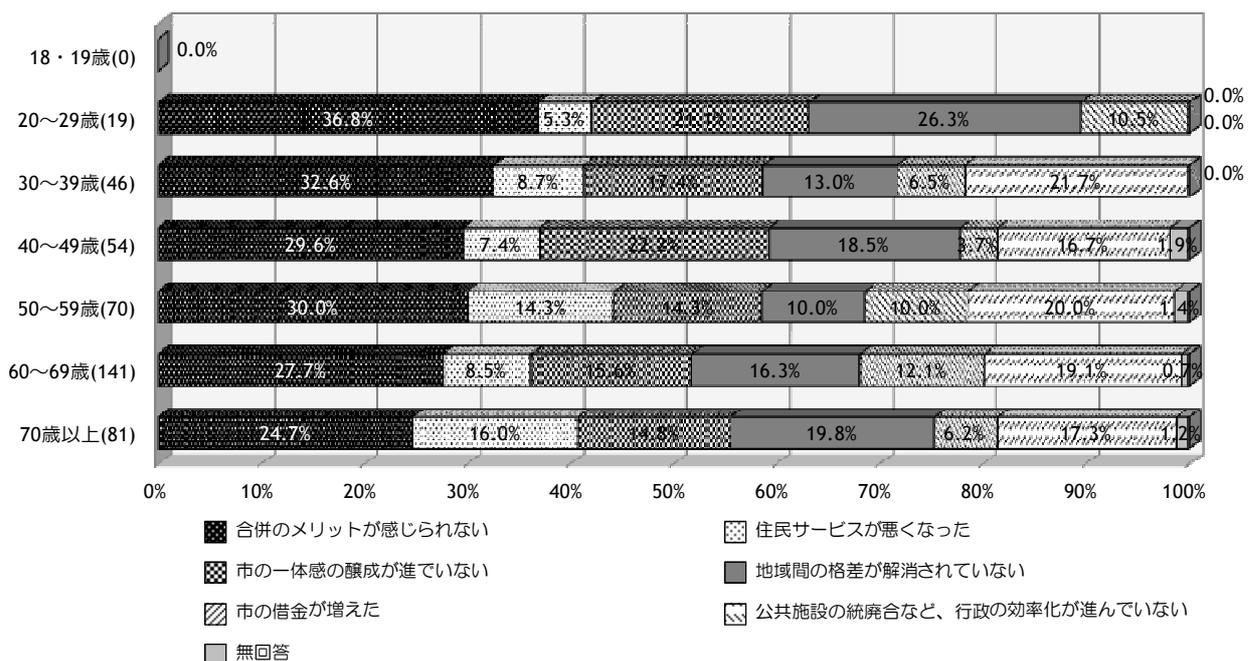


図 3-5-10 年齢別満足していないと思うことへの回答割合

## (6) 「協働のまちづくり」について

問 3-1 「協働」という言葉を以前から知っていましたか。

「協働」については、「知らない(51.3%)」、「言葉を聞いたことはある(31.0%)」、「言葉の意味を知っている(15.5%)」となった。

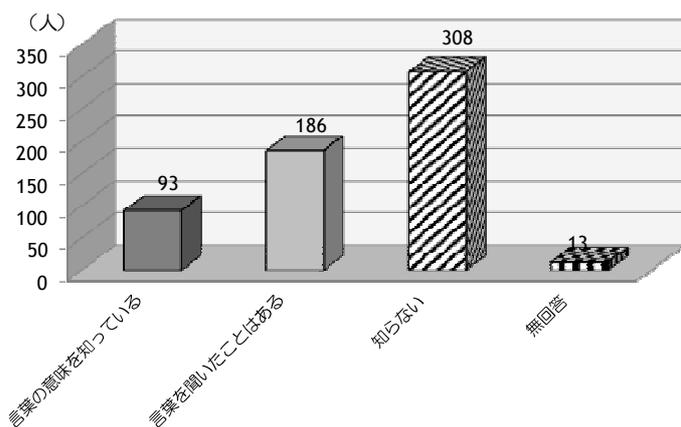
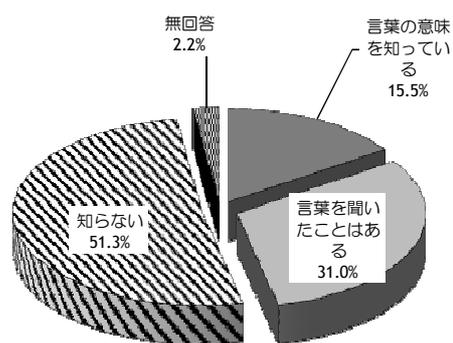


図 3-6-1 「協働」についての回答数



(n=600)

図 3-6-2 「協働」についての回答割合

### 【参考】

※協働とは…

地域における目標の達成や課題の解決を図るため、市民と行政が対等な立場で一緒に考え、一緒に行動すること。

【性別の「協働」について】

「協働」について「意味を知っている」の男性が20.6%、女性が11.5%となり、「知らない」の男性が47.9%、女性が54.4%となった。

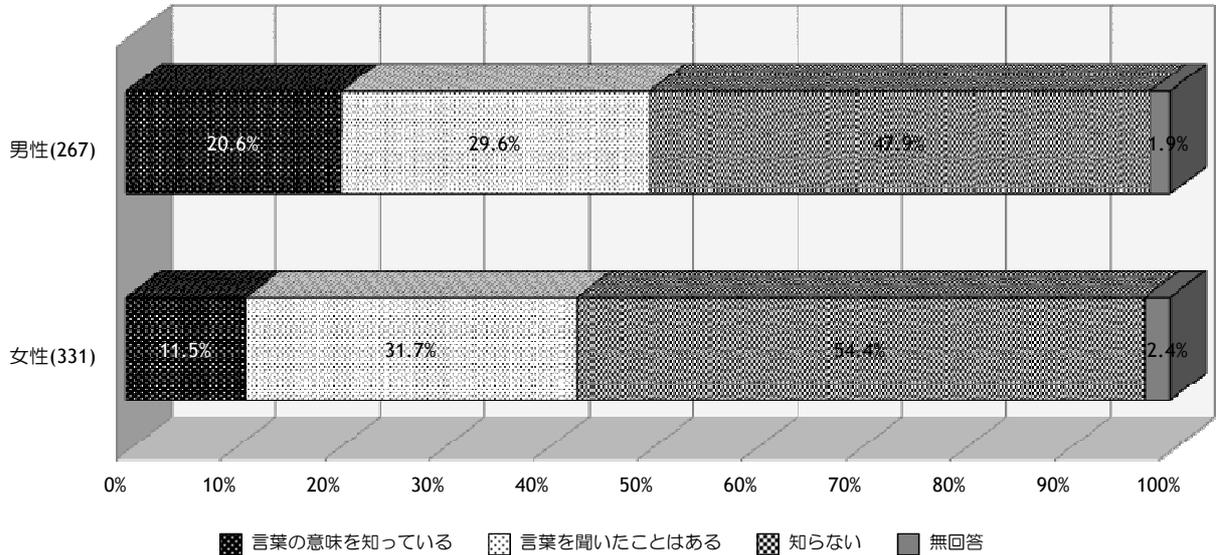


図 3-6-3 性別「協働」についての回答割合

【年齢別の「協働」について】

18・19歳、60歳以上では「言葉の意味を知っている」、「言葉を聞いたことがある」の割合が半数を超えているが、その他の年齢層では「知らない」の割合が半数を超えている。

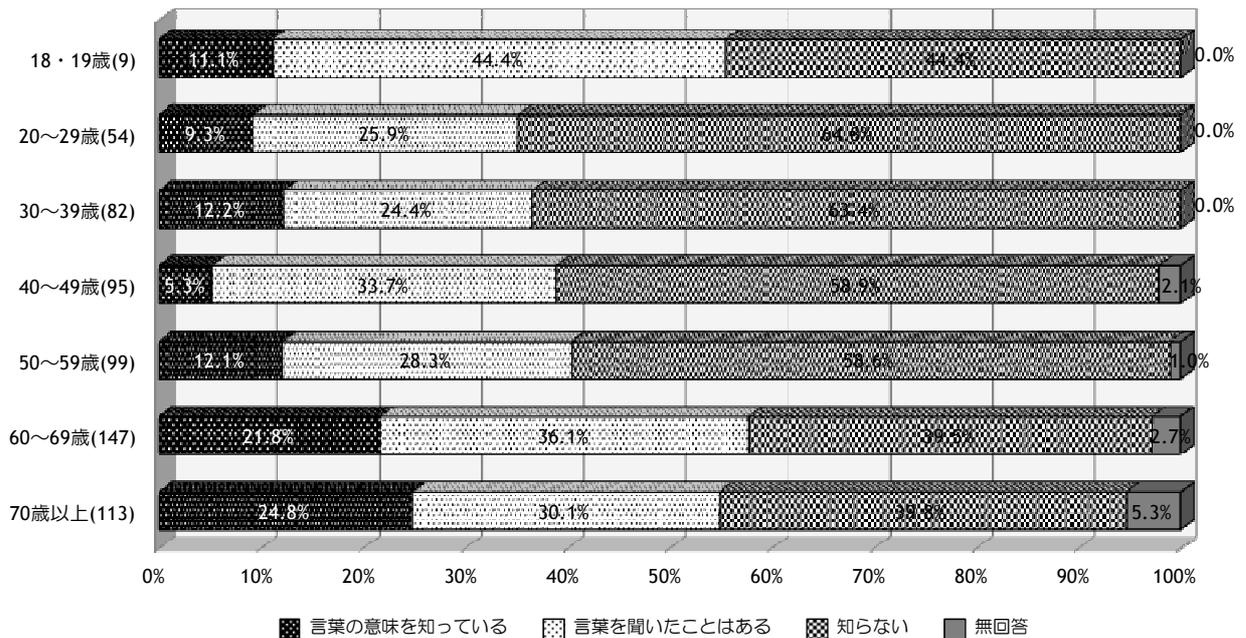


図 3-6-4 年齢別「協働」についての回答割合

**問 3-2** 市民と行政が一緒に考え、一緒に行動する「協働のまちづくり」の実現に向け、あなたは何か活動をしたと思いますか。

活動については「機会があれば考えたい(65.0%)」の割合が高く、「わからない(16.0%)」、「今後活動したい(6.2%)」、「活動したくない(5.3%)」、「現在、活動している(4.5%)」となった。

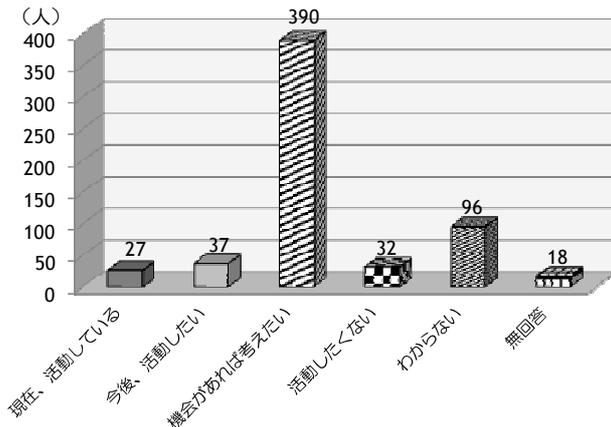
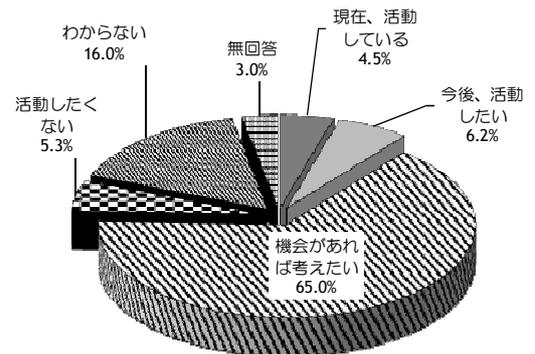


図 3-6-5 「協働のまちづくり」の実現意欲回答数



(n=600)

図 3-6-6 「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

**【性別の「協働のまちづくり」の実現意欲】**

男性、女性とも「機会があれば考えたい」の割合が約6割となった。

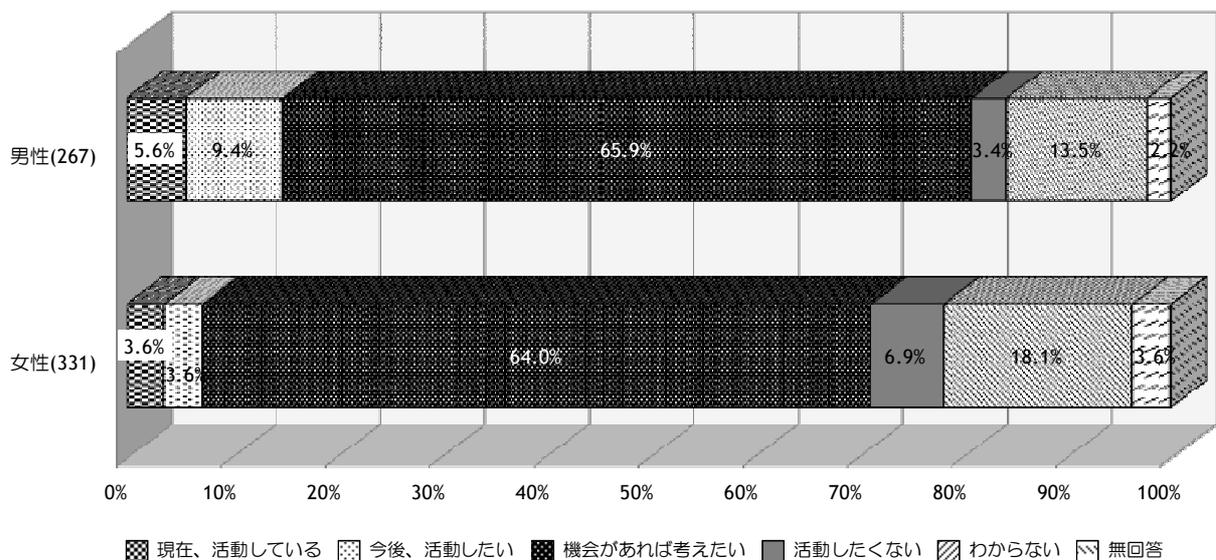


図 3-6-7 性別「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

【年齢別の「協働のまちづくり」の実現意欲】

全ての年齢層で「機会があれば考えたい」の割合が最も高く、5割以上となった。

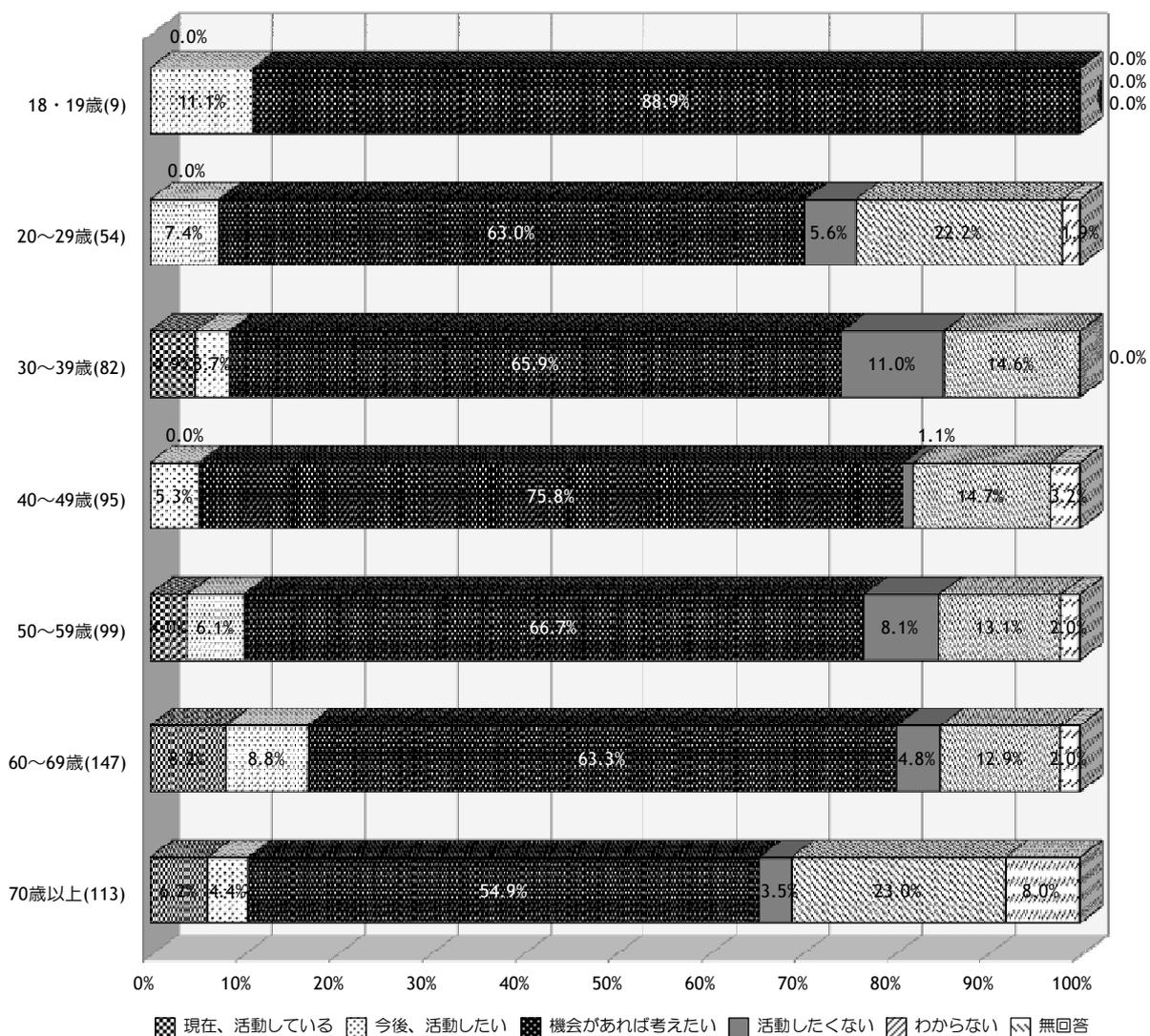


図 3-6-8 年齢別「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

(7) 「議会本会議」について

問 4-1 議会本会議の様子や審議結果などをご覧になっていますか。

議会本会議の様子や審議結果などについては、「あまり見ない(34.2%)」、「まったく見ない(33.3%)」、「時々見ている(26.3%)」、「よく見ている(5.5%)」の順となったが、上位2項目は約3割とほぼ同じ割合となった。

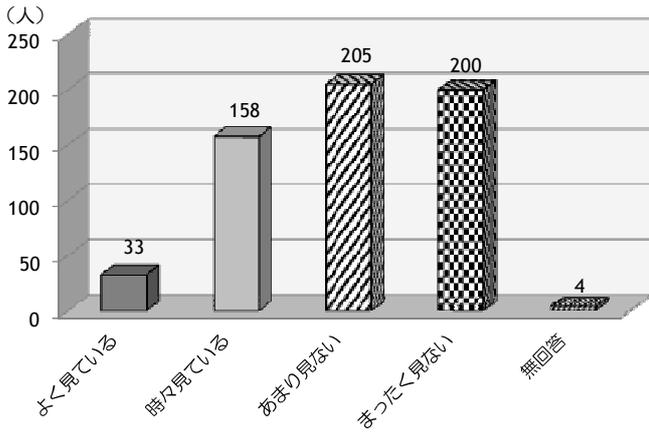
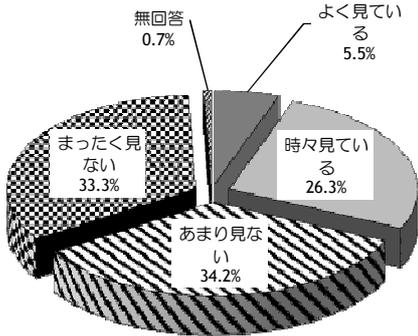


図 3-7-1 「議会本会議」についての回答数



(n=600)

図 3-7-2 「議会本会議」についての回答割合

【年齢別の「議会本会議」について】  
「時々見ている」「よく見ている」の“見ている”が60歳以上では3割を超え、30代、40代、50代では2割を超えている。高い年代になるほど割合が高くなっている。

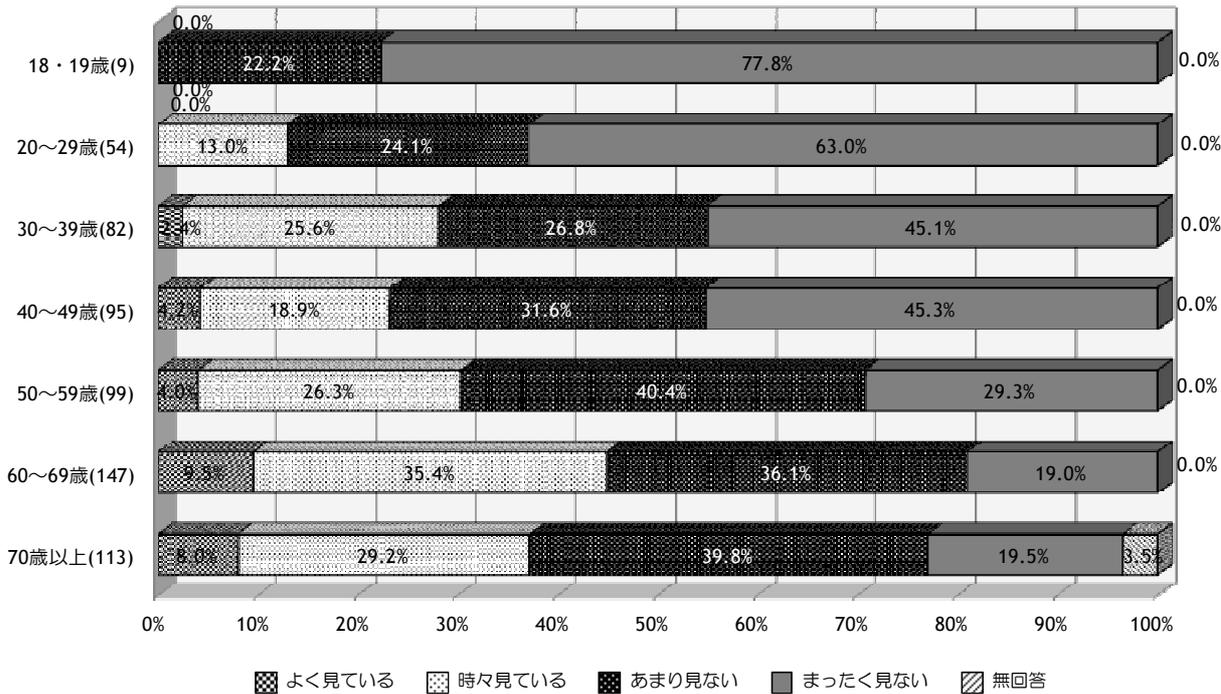


図 3-7-3 年齢別「議会本会議」についての回答割合

問 4-2 問 4-1 で「1 よく見ている」、「2 時々見ている」、「3 あまり見ない」を選んだ方は、どのような方法でご覧になっていますか。（複数回答可）

議会本会議の様子や、審議結果の情報を得るための方法として、回答者の約 9 割の人が「議会報『市議会だより』を読む(72.3%)」、「ケーブルテレビで議会中継を観る(20.8%)」の 2 つの方法で得ている結果となった。

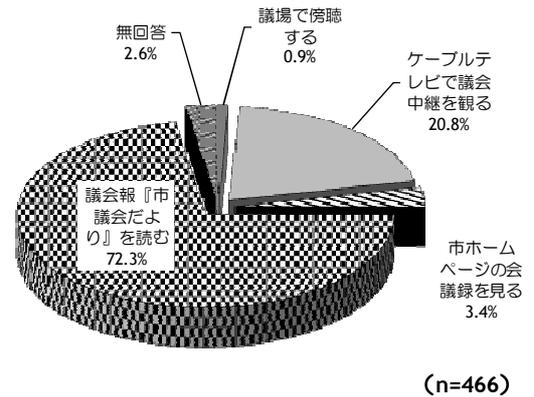
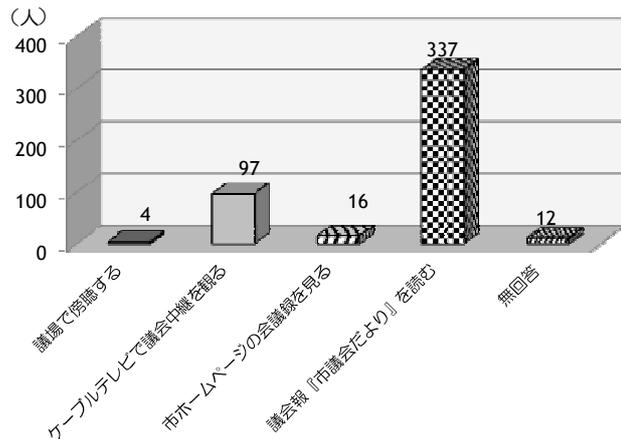


図 3-7-4 「議会本会議」の情報入手方法の回答数

図 3-7-5 「議会本会議」の情報入手方法の回答割合

【年齢別の「議会本会議」の情報入手方法について】

全ての年齢層で回答者の 9 割以上の人々が議会報『市議会だより』を読む、「ケーブルテレビで議会中継を観る」で情報を得ている結果となった。

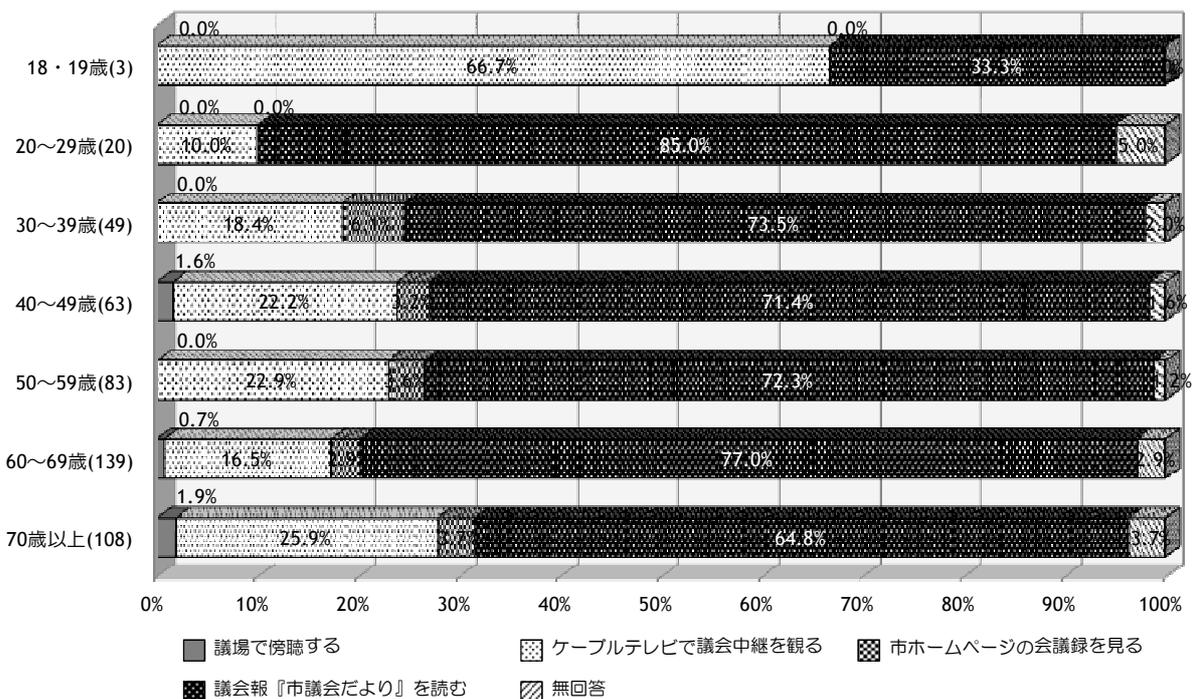


図 3-7-6 年齢別「議会本会議」の情報入手方法の回答割合